

# ふかんど

№221号

1982.6.1

谷津干潟愛護研究会  
〒25 習志野市谷津三七七鷗荘E号  
電話〇四七四一五一一五〇四四  
編集 森田三郎

会費 年2000

創刊  
1980.6.3

## 「フローネの小屋」を作ります

### ヨシと竹の屋根、二つ作り

ます

だいぶ日差しが強くなって来ました。そろそろ日陰が欲しい季節です。

今年と又、例の如く「あずま屋」らしく、との、竹と流木とヨシで作ります。確か三年前、習志野高校が甲子園に出場した時、地元の紹介があったわけですが、その時に谷津干潟が選ばれました。そしてここに、この名物、当時土人小屋と呼ばれていた「フローネの小屋」が、堂々と全国に放映

されたのであります。

ヨシの葉のすれ合う音を聞きながら、風に吹かれ、ジュースやサイダー、ビールなどを飲む心地は最高です。折り返し、この頃になると、向い側の谷津庭園では、恒例の夕ヒキ、ハワイ音楽の催し物が開かれています。とてもよく聞えてくるのであります。

子供たちにはとくに人気があります。ペニギ塗りにしても、ベンチを作りにしても、又ことういうヨシの小屋にしても、手足をギズだらけにして喜々と作っているのです。

### 於 習志野市谷津公民館

期間 六月一日ヨリ六月三十日マデ

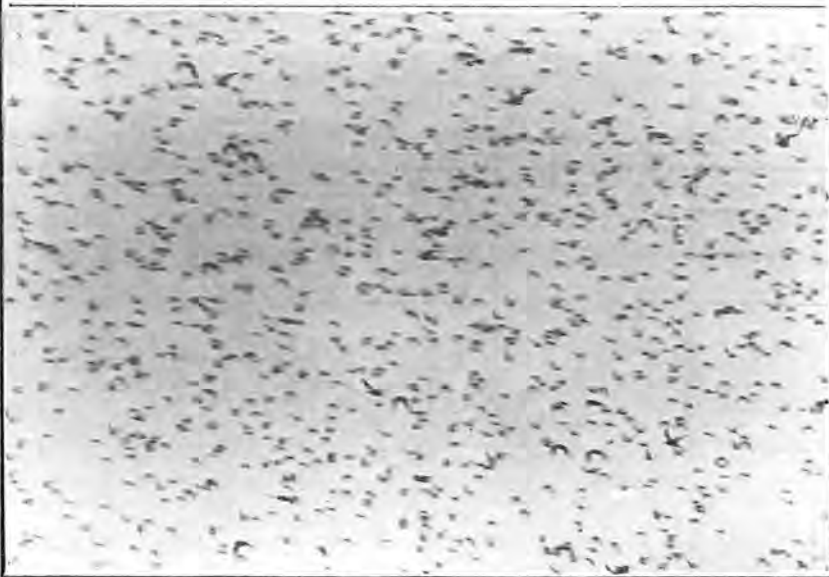
谷津公民館は、五月の中旬に完成したばかりです。そして、干潟にいちばん近い公民館です。

とっと早くこの公民館の要望でしたが、遅れてしまい、谷津公民館の方にはご迷惑をかけて申し分けなりの思っています。

### へ内容

習志野港に来た野生のオットセイ、コアシサシ、セッカ、オオヨシキリ、シロチドリ、セイタカシギ、コチドリ、ヨシゴイなどの習志野の渡り鳥、ヨシとガマ

谷津干潟上空を群舞する、シギやチドリたち。ヘリコプターの音におどろいて。 5/5

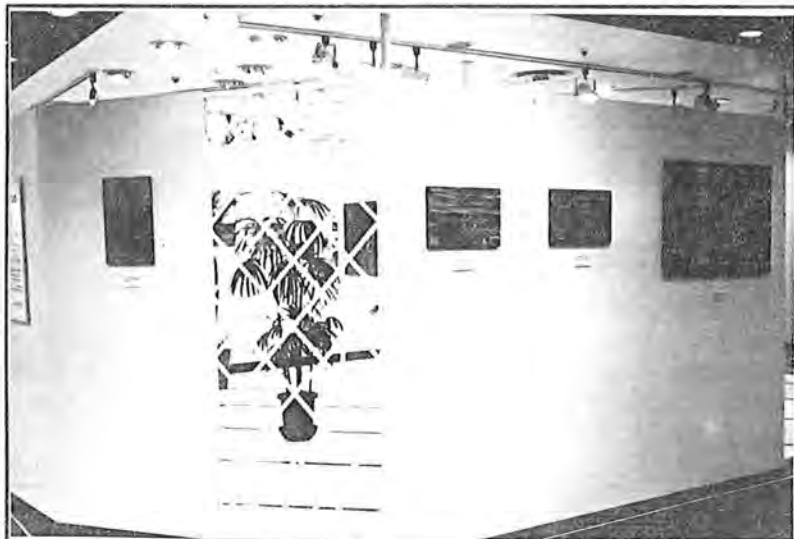


## 「谷津干潟展」の御知らせ

「谷津干潟クリーン作戦」6月15日は三丁目前、6月21日はテーブルとベンチの所です。

谷津干潟クリーン作戦 55回 6月15日(火)主婦、56回 6月21日(日)一般です。

お振込は千葉銀行012-54253  
谷津干潟愛護研究会



- 前田建設と竹中土木への感謝状は、口無明さんが書いてくれました。又、額と記念品は口無さんのカンパでした。
- 松枝多加子さんより、花と記念品の為にと千円頂く。

鳥の観察の為でしたが、今は全く子供産の遊び場に。



知ってますすみかあ、とにかくすみさまじい！

おそらく、知ってる人、聞いたことのある人は、殆んどいなりのではなうたろうか。

今時分です。とくにこれから暑くなる夏にかけてか、いよよくすごくなるのだ。

天気の良い、風のないう日、「谷津干潟クリン作戦モデル地区」へ行ってごらん下さい。そして潮が引いたあとの水辺、水草が生えている所に行つて、そおーと耳をすますだけでいい。そこいらじゅう、いた

つ所から南へ来て来ます。穴の中に入れて息を吐いてゴカイのその音が、ブチブチくくくくくくといっているのが。それがかさつ、そのすごい数なのである。無数の、文字通り「湧く」が如く、音をたてているのが、気が悪くなる程に南へくるのである。

クリン作戦の時、京友サンコーポの松枝さんなどはその音を聞いて、「何かしら？、変な音がいっぱいしているわ……」なんて言っていました。津田高のそばでもしていた。皆さん、是非一度行って、「谷津干潟の名物」を聞いてみませんか。

五十嵐吉夫氏、だいぶ気を使ったせいでしょっか「あんまり疲んちゃってさあ、体にジーンマシンが出て来ちゃったよお……」、そう言っていました。

尚、これらのパネルは「なごの朝日」が所蔵して、学校に貸し出す計画です。

# ふかんど

№222号

1982.6.10

谷津干潟愛護研究会  
〒275 習志野市谷津三十七 鷗荘E号  
電話〇四七四一五〇四四  
編集 本林 田三郎

会費 年2000

創刊  
1980.6.3

場所 「フローネの小屋」の

そば。「生きながらにして

埋められた干潟の生き物

たちの鎮魂歌」看板前

期日 六月十三日(日)午後二時

塔婆を建て、お花と線香を上げると言  
った、いたって簡素なものです。

九日に、谷津干潟にいちばん近いお寺  
に行き、そこのお僧さんと会って正直に  
くわしく説明し、主旨を述べました。

この人、干潟のことをよく存じておら  
れ、昔「ふかんど」で溺死した人産、あ  
るいは丘への踏切などで亡くなった人  
産の霊と、自らの意志で供養されたこと

## 草の種サ時キで消散

―京葉港のコロニー―

せっかく京葉港に、コアジサシのコロ  
ニー(集田営業地)が形成され、再び見  
られるとの喜んでいました。ところが  
、砂をとばなくする為だろうが、ドロドロ

ロのコールタル状にした草の種が全面  
にわたって蒔かれた為、コアジサシは卵  
を作れなくなり、どこかへ行ってしま

と度々あったと言う。お寺の本堂にて、二十  
分程読経して頂きました。

「隣み」、こもがとしかしたり、自然保護  
の原典ではなかつうか。皆さんは、いかが?  
森田、運動始めて向となり頃、真っ白くな  
って動かないでいる干潟の生き物たち、死ん  
でいる彼らを大声で叫びながら振り動かして  
いるユメを見たことがあつたのを憶えている。



ました。実は、となりの幕張に場所を代えた  
のでしよう。

幕張では急にコアジサシの数が増え、とし  
て、卵と巣の数が多くなったのです。時期ど  
がったりと一致している。種が蒔かれた所は  
、五、六羽しか飛んでいなかた。

## コロニーをのご案内します

東京湾では、コロニーらしきものは今  
手が最後。是非一度見ておいて下さい。

鹿絡は本森田まで。

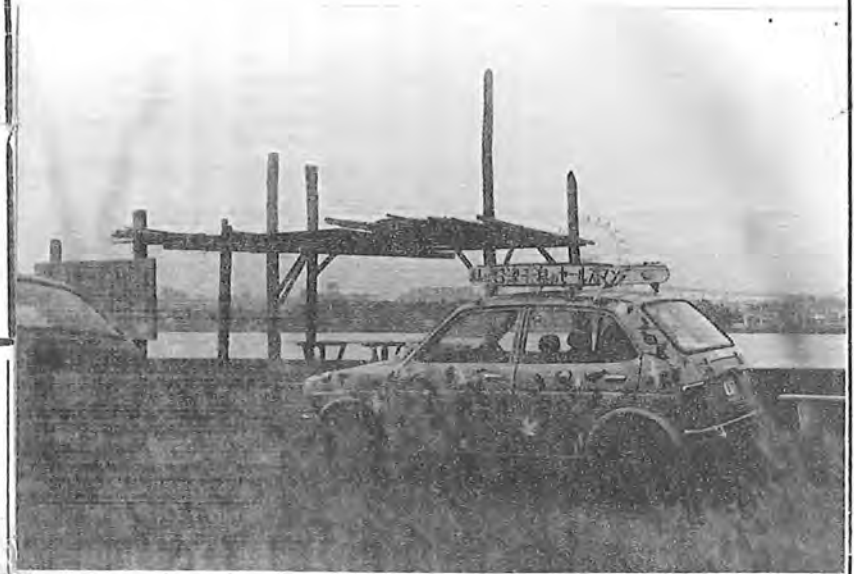
↑ベニチの草むら。字からして小学生なのだろう・・・。

お振込は千葉銀行012-54253  
谷津干潟愛護研究会

草刈り、ベンチの修理、渡り鳥の調査、ペンキ塗り、小屋作り

フィールドワーク

「バンブーハウス」、つまり竹の屋根の日除け小屋です。



コロニーで、コアジサシのヒナを見た内谷さん。(幕・A)



毎日こうしてペンキぬり。「谷津干潟の行事案内」の看板です。



「おじさん、市の人、それとど県の人？、何でこんなことしてんのあ、おじさんだあれえ？」、そう津田沼高校の生徒に言われたことがありました。  
とにかくまあ、「前世の因果」のよ  
うな気がするし、巧徳を積む思いでや  
っている感じです。  
ベンチやテーブルの修理っていうのは、かえって新しく作るよりも大変な  
んだとわかりました。  
ペンキも高くなりました。十八しん  
が一万円以上とするんですわ。行事案  
内の看板、結構見ていく人が多い。

すみません、内谷さん、かたじけない、ありがとう。



野鳥観察中の森田さん

ウオントッドノ  
お嫁さん  
お嫁さん募集  
●...捜している男性  
森田三郎氏(36)(船橋)

だれか僕のとこにお嫁に  
来てくれる女性いませんか  
ホント、もう三六歳だもん  
ナア、そろそろ真険にお嫁  
さん捜さなくっちゃ  
えー、まず自己紹介です。  
昭和二十年生れ三六歳。住  
所・船橋市内。東洋大学英  
米文学部中退。船橋出身。  
「谷津干潟を守る会」会長、  
会報誌「ふかんど」編集人。



竹の屋根を掃除する森田さん

職業は谷津干潟の番人とい  
うことに。正職は、いま考え  
るとこあつて無職。どうで  
す、無職の身で嫁さんを公  
募する、コノ勇氣。でも、  
嫁さん貰ったら食べさせて  
住まわせるくらいのお金、  
僕にだってありますヨ。  
えー、趣味は谷津干潟、  
えー、特技も谷津干潟。え  
ー、ほかに趣味は、ま、読  
書ですナ。伝記、心理学な  
ど、職書は三万五千冊。  
嫁さんの条件？えー、と  
くにありません。谷津干潟  
とその生き物に愛着を持つ  
女性ならどなたでも結構で  
す。ま、欲を言えば池上季  
実子のような女性なら言う  
ことありませんが。本当に  
真面目に、この僕の相談に  
のってくれる女性、どこか  
にいませんか？(お問い合  
わせは本誌編集部へ！)

コミュニケーション「ちば」

センター

七月号オオ20号

# ふかんど

★223号

1982.7.1

谷津干潟愛護研究会  
 〒270 習志野市谷津三ツ七 鷗荘E号  
 電話〇四七四一51・五〇四四  
 編集 森田三郎

会費 年2000

創刊 1980.6.3

「私のおとこは自分とはなれない。毎日ながめてみるほかに干潟のごみを、昼も夜も片づけている人がいたのですからね。でも、私なんかは、ごみ集めの日を忘れたら、きょうも用事があったら、作業に汗を流しては宮川さんは「うちの子どもがカニをとりた。ごへん。そのおれ、もうでるだけですよ」といって、動機は単純、やっていることはいらない」といって、はたいたことではないとい

「私の家と干潟とは自分とはなれない。毎日ながめてみるほかに干潟のごみを、昼も夜も片づけている人がいたのですからね。でも、私なんかは、ごみ集めの日を忘れたら、きょうも用事があったら、作業に汗を流しては宮川さんは「うちの子どもがカニをとりた。ごへん。そのおれ、もうでるだけですよ」といって、動機は単純、やっていることはいらない」といって、はたいたことではないとい

「私のおとこは自分とはなれない。毎日ながめてみるほかに干潟のごみを、昼も夜も片づけている人がいたのですからね。でも、私なんかは、ごみ集めの日を忘れたら、きょうも用事があったら、作業に汗を流しては宮川さんは「うちの子どもがカニをとりた。ごへん。そのおれ、もうでるだけですよ」といって、動機は単純、やっていることはいらない」といって、はたいたことではないとい

「私のおとこは自分とはなれない。毎日ながめてみるほかに干潟のごみを、昼も夜も片づけている人がいたのですからね。でも、私なんかは、ごみ集めの日を忘れたら、きょうも用事があったら、作業に汗を流しては宮川さんは「うちの子どもがカニをとりた。ごへん。そのおれ、もうでるだけですよ」といって、動機は単純、やっていることはいらない」といって、はたいたことではないとい

「私のおとこは自分とはなれない。毎日ながめてみるほかに干潟のごみを、昼も夜も片づけている人がいたのですからね。でも、私なんかは、ごみ集めの日を忘れたら、きょうも用事があったら、作業に汗を流しては宮川さんは「うちの子どもがカニをとりた。ごへん。そのおれ、もうでるだけですよ」といって、動機は単純、やっていることはいらない」といって、はたいたことではないとい

「私のおとこは自分とはなれない。毎日ながめてみるほかに干潟のごみを、昼も夜も片づけている人がいたのですからね。でも、私なんかは、ごみ集めの日を忘れたら、きょうも用事があったら、作業に汗を流しては宮川さんは「うちの子どもがカニをとりた。ごへん。そのおれ、もうでるだけですよ」といって、動機は単純、やっていることはいらない」といって、はたいたことではないとい

## 家庭

「二人の女性、松枝多朋子さんと、宮川郁子さん(仮名)が、ごみ集めに前を出しているところを、干潟野鳥愛護研究会の調査員が、谷津干潟の西北端である。谷津干潟といえば、かつては潮干狩りの名所だった。いまは周囲をコンクリートで固めら

### 谷津干潟の「ごみ集め」

主婦たちがコツコツ汗して2年余り  
 信じられない変わり方



谷津干潟のごみ集めは、いまは来たが、ヨシが伸びてくるこれからは大変になる

野鳥を守る会も協力  
 9月に再びクリーン作戦

「魚釣しや、カニとりも盛んだが、(ごみ)ごみを片づけてはいる主婦たちがいることを、どれだけの人が知っているだろうか。最後に松枝さんがいった。「ここに住んで八年、ごみ集めを二年余やって、ようやく干潟の価値を知りました」

ご協力、ありがとうございます

ご返信、きまます

したことはありません。

今までに、いろくな主婦のオタガ参加してくれました。皆さん、今のま、

そしてどんなにその力が小さくともいい

のです。出来る人が、出来るときに、出来ることとして頂ければ、さうそれに越

「谷津干潟クリーン作戦モデル地区」は、やれば出来る」ということを実証した金字塔なのです。知る限りそれは、名実共に全国に誇るに足るものだと思えます。

八十才のおばあさんから三才の子供まで、皆さんに厚くお礼を申し上げます。

於 六月十五日(火)  
 才の回谷津干潟  
 クリーン作戦

谷津公民館のオープンを飾るに最もふさわしい「スバル」写真展でした。20年前のこの地の記録写真とそこに  
 コミの山の化した干潟、そしてオランダの塔の様な橋と  
 森田さんの何年にもわたる苦勞のよつて見ろかゝる程  
 美くなった今の干潟。この日本でも数少なくなつた  
 野鳥の貴重な生息地としての谷津干潟こそ、私達習志野  
 谷津の日本中に於ける宝と思ひ、私達市民が  
 守らなくてはなる。私達市民の財産を守ろう、  
 谷津3町目。 S.T.

「谷津干潟展」の声 (谷津公民館) 10-30

うちの学校の近くに住むいい所があるとは思いませんでした  
 一度プロ初家に行ってみたいと思ひます  
 津田沼高校  
 写真部

森田三郎様 谷津干潟愛護研究会の皆様へ。

今日は公民館がへん変に有りがち思つて銀行のフーズに遠道より  
 来り今日一日が本気で心にかけていた二月のある日の事を思い出して  
 お鳥を拝見しました。心温まる思い、一枚一枚ゆくり時内の立ち  
 つも忘れない程でした。その二月の朝私はササのノッポの鶴の姿にまよひ  
 雄大な羽のばたきと舞がった美しい姿、私の心の中でシャッターを  
 切りました。これぞ4セルスシャッター10枚〜20枚も撮りました。  
 森田様でしたら、この会場の中の一画にかかげられたでしょう。  
 習志野に住んで12年になります。谷津に住む人は1年に滞りませぬ  
 毎朝寒い向風の散歩道です。これからは色々の方面への活動と  
 心からお願いいたします。本気で谷津干潟保護会にも参加したい  
 ところですが、主人の仕事の都合で仲々家を開けてクレーン参加も出来ず  
 申し訳ない心で一杯です。最近暑くなりまして中止してしまつたが  
 明日から谷津干潟への散歩。朝のすばらしい風景と共に皆様の活動  
 士れています。心情的に大いに感謝して、一日の健康に  
 仕事を頑張りますが「ふりんど」もゆくり続きせよもらいました。日も早く  
 保護区指定されますと習志野市民としてすばらしいと思ひます。  
 オットセイ 現在 2頭の鳥のレーワルトに元気がいいことでしょう。孫の摩威がオ  
 太郎頃には行つて見たいです。谷津の海に東のほとれがなと話しやります。  
 7月6日 谷津2-18-4 211号 古賀和枝  
 字がと下で申し訳ありませんがペンを取り戻しました。

57年6月16日(木) AM 11:20

峰之を眺めて、さ、よく見にきました。コアジサシのヒナほどのきれいな写真が  
 いっぱいあり、とても心あたります。展示と思ひました。以前のゴミの山の  
 写真をみると、今の干潟のきれいなこと、本当に信じられないぐらいですね。  
 いつもいつも森田さんのこの行動力が甘えています。(お評伝いしてあげたい)  
 写真について一言かとてもあたたかく、子供達にもわかりやすく  
 良いと思ひます。  
 この展示を見て、ひとりでも多くの人がクリーン作戦に参加していただけたら  
 又、ひとりでもいからゴミをひろってくれたら、どんなに干潟の生物  
 が好ぶでしょう。心からそう願つた気持ちです。

宮川郁子。

S57. 6.17

今の谷津干潟には、たくさんの野鳥がいることを、たくさんの  
 写真を見て、分かりました。  
 でも、オットセイがいるなんて知らなかつたので、とてもおどろきました。  
 こんなふうに写真を見ながら、思い、野鳥たちを鑑賞するのは、  
 とてもいいだろうなと思ひました。野鳥のひなは、とてもかわいいと思ひました。  
 一度見てみたいなと思ひました。そんな気持ちで、写真を見ていると、  
 かわいいひなが目に入りました。こんなにも、野鳥がいる、自然は  
 とてもよいことだと思ひます。これからは、野鳥などが、幸せにくらせるように  
 自然を守りたいと思ひます。これからは、たくさんの写真と、展示して  
 下さいね。いつでも見に来たいと思ひます。  
 小5 J.Yより Yamaki

干潟の近くの作業着屋さんが、私産の活動を知って、ゴミを入れる為のビニール袋をくれるようになりました。丈人がすっぽり入ってしまうくらい、の袋がいっぱい使えます。

写真上 コアジサシのヒナ  
 下 シロチドリ  
 今、残り少なくなったコロニーでは、コアジサシやシロチドリのヒナが次々と産まれ、ヨチヨチ歩きまわっています。でも、工事・野犬・人間・雨・砂あらしで、多くは死んでいきます。

# ふかんど

号224

1982.7.4

谷津干潟愛護研究会  
 〒275 習志野市谷津字七ヶ 郵便E号  
 電話0474-51-5044  
 編集 森田三郎

会費 年2000

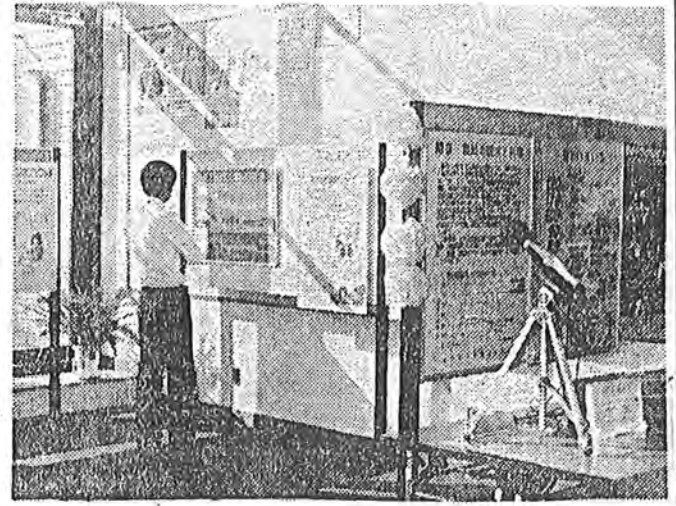
創刊  
 1980.6.3



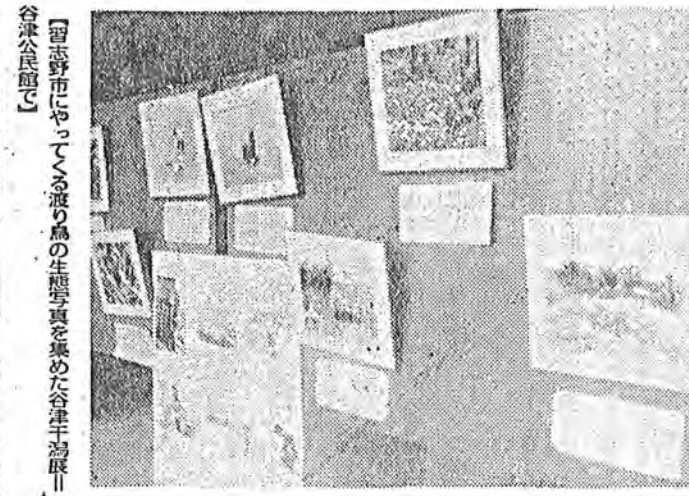
「すみやすさをいり、かつ築こころ」

## みんなので築く 住みよい郷土

住みよい環境一人ひとりの心がけ。十日までの環境週間にちなみ習志野市で二つの「環境展示会」が開かれている。一つは市公害センター主催でもう一つは谷津干潟愛護研究会主催。五月三十日のゴミゼロ運動を中心に空きかん対策などを各地で環境問題に対する関心がたかまっているなかで、この展示会は改めてみんなの手でつくる環境保全の呼びかけ。



## 習志野で2つの展示会 環境保全呼びかけ



習志野市にやってくる渡り鳥の生態写真を集めた谷津干潟展  
 谷津公民館で

市公害センターの展示会場は同市袖ヶ浦の袖ヶ浦公民館。環境保全推進活動、工場見学などの環境週行事の一つ。同公民館一階ロビーには環境教育に資する展示、遊歩公園、ゴミの正しい捨て方、新しい街の緑化計画など、パネルを使って説明している。そこに騒音測定計と周波数分析の実物を展示、実際に測定している。周波数分析機は成田空港などで新しい公害として問題となっている騒音測定するもので、訪れた人たちが驚いた様子。また、二階ではゴミとして捨てられたものからまた使える物を展示するコーナーも設けられた。同コーナーには木製二点、机三脚、サイドボード、電気マッサーシ機など、ガッチリしてまた十分使えるものは約十四点。また使っていない三脚と推測されるソフトクリーム製造機もあり、これらは先着順で進呈されるが、一旦見て売却。省資源の大切さを呼びかけていた。

一方、谷津干潟愛護研究会の展示会は谷津公民館。会場の一階ロビーには習志野港にやってきた野生のオットセイをはじめエサを運

びヒナを育てるセッカアジサシ、シロチドリの抱卵など同研究会が開発してきた谷津干潟の渡り鳥の生態写真を代表の森田三郎さんが作成した谷津干潟パートナーシップのイラストを三十二点が展示されている。

また、四十周年の二十年前の写真を展示されており、会場を訪れた人々は大きな感動を抱いてきた。習志野の歴史、工場、住宅、公園の様子をじっくりと見ている。

なお、期間は袖ヶ浦が十一日まで、谷津は二十日まで。

谷津干潟に「まぼろし」の湖

「幻」の湖」・「ひよっこり

ひよつたん鳥」

場所は谷津干潟自然緑地の草はらです。

すぐそばで、カルガモ、オオヨシキリ、セ

ッカ、ヒバリが巣をつくっています。

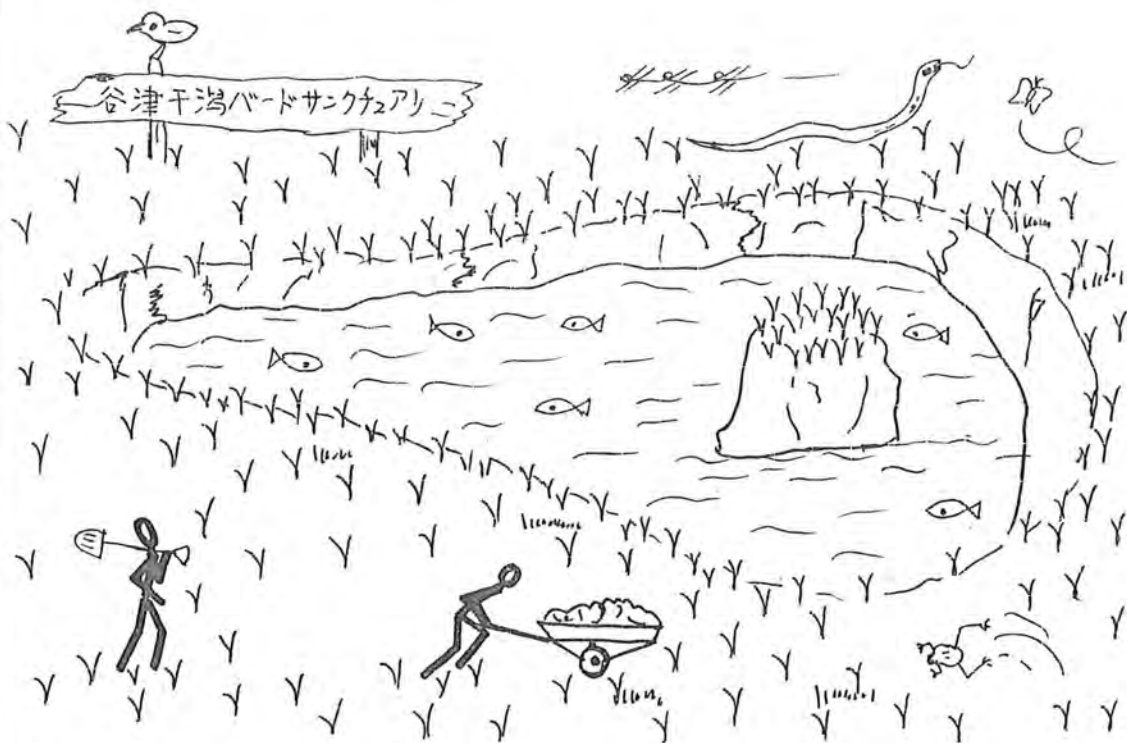
とうすぐ完成します。そして、メダカ、

フナ、タナゴを放します。ミズスマシ、ゲ

ニゴロウ、マゴ、カエルにも入居して頂

きます。夜の九時頃まで、月と星の明りをた

よりにせつせつと作っています。



谷津干潟の名物

流木・竹・ヨシで作

りました。文字通り、「フイ

ールドワーク本部」です。

ベンチの下にキノコ

大きさは約二十センチぐら

いあります。何しろ古い流木

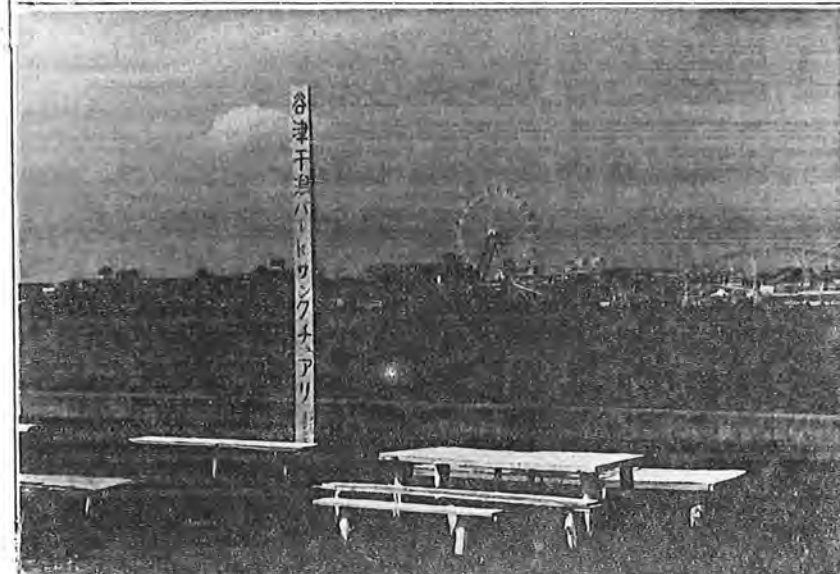
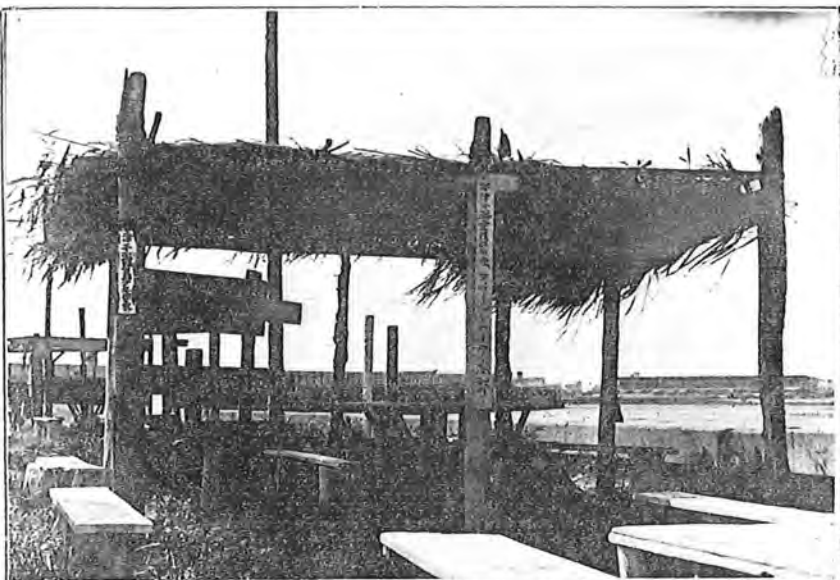
を使用してのりこんでーい。

バードサンクチュアリ

こういう看板が三十本ぐら

い立っています。意味は、渡

り鳥の「聖域」です。





# ふかんど

号225

1982.7.7

谷津干潟愛護研究会  
〒275 千葉県市谷津三十七 鶴荘E号  
電話〇四七四一五一一五〇四四  
編集 木林田 三郎

会費 年2000

刊 創 1980.6.3



## 知られざる野鳥の楽園

カメラ 森田三郎氏(谷津干潟愛護研究会会長)

船橋から習志野、幕張に至る海岸部の埋立地で、いま、何が起っているか。

実は、いま、この広大な沿岸部で、数百の野鳥が種の存亡をかけた最後の凄惨なドラマを演じているのです。

なぜ、最後のドラマなのか。それは後述するとして、とにかく埋立地の中を見てもみましょう。東京湾内奥部に位置するこの埋立地の面積は、約三千ヘクタール。鎌ヶ谷、習志野の両市がスッポリと入る広さです。

とにかく広い。歩いて歩いても果しない。「埋立地」といえば空疎な原っぱを連想しがちですが、これが大間違いです。荒涼たる。砂漠。が続いたと思うと、「オアシス」があつたり、草原。地帯もある、かと思えば尾瀬ヶ原をホウフツとさせる天然の湖が点在したり、その景観の砂は意外でした。

埋立地に隣接して全国有数の人口急増地帯があるとは到底思えない別世界です。全国有数の

人口急増地に隣り合わせて、これまた全国有数の野鳥の楽園と

は。この一種異様な光景を、さらに一層強く印象づけるのは、周囲に張りめぐらされた有刺鉄線や立入禁止の札でした。

しかし、それはそれとしても事実、この埋立地と谷津の干潟は、全国の野鳥ファンが瞳目する有数の渡り鳥の飛来地である

ことには違いないのです。埋立地の中を歩きます。見渡す限り砂地、砂漠と見まごうばかりです。案内役の谷津干潟愛護研究会の森田三郎会長が、突然、記者の足を止めました。危うく、もう半歩で三個の卵を踏みつぶすところでした。足元の砂地に、うすら大の卵が石コロのようにころがっていました。



右にヒナがいるのわかるかな(コチドリ) (こんな砂地に巣が(コアジサシの親とヒナ)

## ルポ・野鳥の楽園と落園を行く 貴重な自然が消える!

この石の陰に、ほかに二羽のヒナがいるのでした。「シロチドリ」のヒナです。こうしてじっとして親鳥の来るのを待っているんです」と森田さん。

した。アジサシの卵でした。よほど良く見ないと砂地と見分けがつかせません。それほど土の色と卵の色は酷似している、なるほどこれなら外敵に知られることはなからうと、感心ひとしきり。みると、あちらに五つ、こちらに七つ...という具合にアジサシの巣が点々と見えています。「これが鳥のコロニー(営巣地)です」と森田さん。

やがて湖水域帯にさしかかった処で、カモ、ヨシキリのほかに、珍しいバンの神秘的な雄姿に出会いました。埋立地を一巡して、地形や植物の違いに合わせて、棲む鳥の種類が異なるのを見ました。ここは、まさに生きた自然教育園でした。

から野鳥の食料庫なんです。干潟というのは泥ですから生物やプランクトンの発生に適している。湘南や九十九里の浜とはまるで違うんです」(森田会長)。



埋立地にはこんなところも...

カモ、サギ、シギ、カモメ、セキレイ、カラス、トビ、ツグミ、ムクドリなどがゆつたりと羽を休め、エサをあさりま

その昔、東京湾が自然を保持していた頃、湾内は野鳥の絶好の生息地でした。それが相次ぐ開発で、野鳥たちは、東京湾最奥部の、この京葉海岸地帯にまで追われてきたのです。

この一帯に棲む野鳥の数は、季節により異なりますが、三千万羽といわれます。種類はざっと七〇種。谷津干潟を含む京葉埋立地が野鳥の楽園と言われるユエンです。

鳥が多い一番の理由は何か。「それはエサが豊富だからです。一般の海浜は鳥のエサは少ないのです。鳥というのは、イトミミズやボウフラ、カニ、ヒル、貝、タニシ、ゴカイ、昆虫、魚などを食べています。干潟にはそれが全部そろっている。だから

ルポライターは、門谷邦雄氏がなさいました。

「まるで穴のような谷津干潟の中に、周辺都市の生活廃水がドツと流れ込んでいきます。干潟は汚れるどころか、化学洗剤や工場の汚水で干潟の生物の生態系を一変させ、鳥のエサになる生物が激減しているんです。鳥に石やビンを投げたり、干潟にゴミの山を投げ込んだり、野放しの犬が鳥のヒナを食いあさったりします。そればかりか、日曜などは暴走族、ラジコン愛好者、ゴルフアター、サイクリングの人波がドツと埋立地に入り、知ってか知らずかコロニーもヒナもメチャクチャに踏みつぶされるんです。鳥の卵を五十、百個と集めて、その辺に放つてゆく人もいます」(同)。

# 「入居者」を募集中！ 「幻の湖」

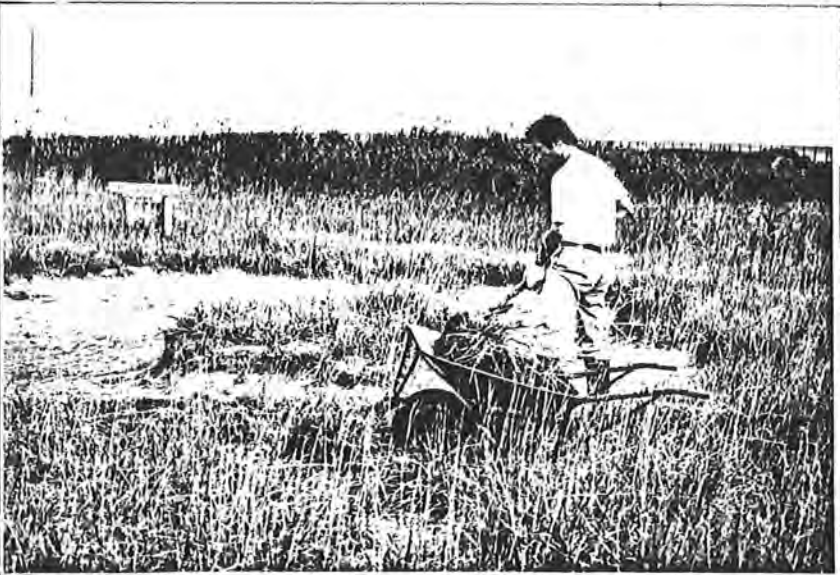
間はなるべく完成します  
 一メートル程の深さになると、水が  
 にじみ出て来て、砂と泥と水とでそれ  
 はすさまじい、闘いです  
 ・おまけに流れた汗で目が見えなくなってしまう。  
 さっそく水が溜まった所にミズスマシとゲンゴロウ  
 ・これからは除々に、メダカ・タナゴ・クチボンを始め、ガマヤ水草にと入居していただきます。

間はなるべく完成します

一メートル程の深さになると、水がにじみ出て来て、砂と泥と水とでそれはすさまじい、闘いです

昼と、夜と、炎天下や雨の日にと

写真上が山崎統司氏、下は森田。毎日こうして、「幻の湖」造りが進められております。



## 「谷津干潟展」から 意見・感想

立派な文化遺産をつくらね、努力に敬意を払うべき次第です。これ以上もう自然を失わないと痛感してあります。(S57.6.4. 谷公民館一頁)

写真がよく撮れています。干潟のおじさん、ご苦労様です。これかとも、かんがえて下さい。

(S57.6.5. 県立津田沼高等学校 生物部  
 2-C 小沢、2-H 大塚  
 顧問 吉田早苗、仲真悟)

ヨロシク!

写真を見ておもしろいけれど、来館におどろきまはさげらしい(おんがんでおね。これからはいろいろ写真をうつして下さい。 S57 6.6. EM)

どの作品を見ても記録に残るとする意欲がかがみこの努力に敬意を表します。(S57.6.5. A.N)

自然の恵みに返れを。享受よりと予えることを。権利よりと義務の遂行を。

# ふかんど

№226号

1982.7.11

谷津干潟愛護研究会  
〒276 習志野市谷津字七七 別荘E号  
電話〇四七四一五〇四四  
編集 森田三郎

会費 ¥2000

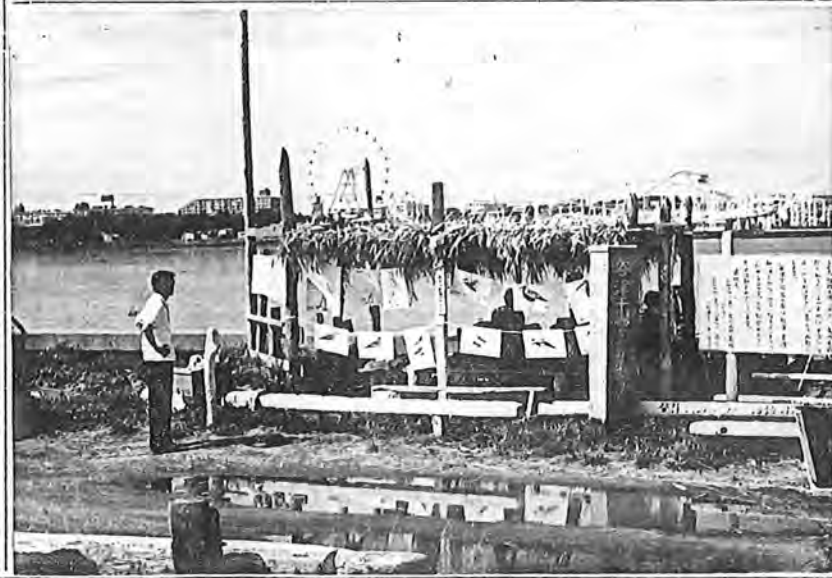
創刊  
1980.6.3

毎週日曜・休日  
午後一時〜三時  
於「フローネの小屋」

日曜、休日ごとに回  
を重ねて半年。「おじ  
さあーん、今日は望遠  
鏡の日ねえ」とか、「  
今日ここに来れば、望  
遠鏡を見せて頂けると  
かーいーし、そんな人  
達が出て来ました。

バードウォッチャーより  
と一般市民の方が多い昨今。  
忙しいがやりがいもある。

自然味・涼味あふれる、ヨ  
シの葉りゆる「フローネの小  
屋」には、季節の鳥の絵が。



(鳥の絵は、長塚佳吉氏によるもの)

子供達が貝ガラとり



道行く人の中には、手を合せてゆく人と。  
花と線香とやめて、貝ガラの山だけにした。

子真のように、いろんな種類の貝ガラを積  
んでおくと、きつとめずらしくて欲しくなる  
のだろうか、取り(拾い)に来るのです。だ  
から、私達が積んでとちつとふえないので  
す。でと、まあ、それとしいいじやないです  
か。こうして貝ガラを積むのも供養なら、そ  
れが欲しくて拾ってゆくのも供養だと思えば。  
現在、干潟は殆んど消滅し、埋立地と開発  
がだいが進んで、貝ガラを捨てる所とごくわ  
ずか、それを遠くにならしてしまつたのです。

谷津干潟クリーン作戦 才59回 7月18日 1.00-4.00 フローネの小 才60回 7月20日 10.30-12.00 三丁目前

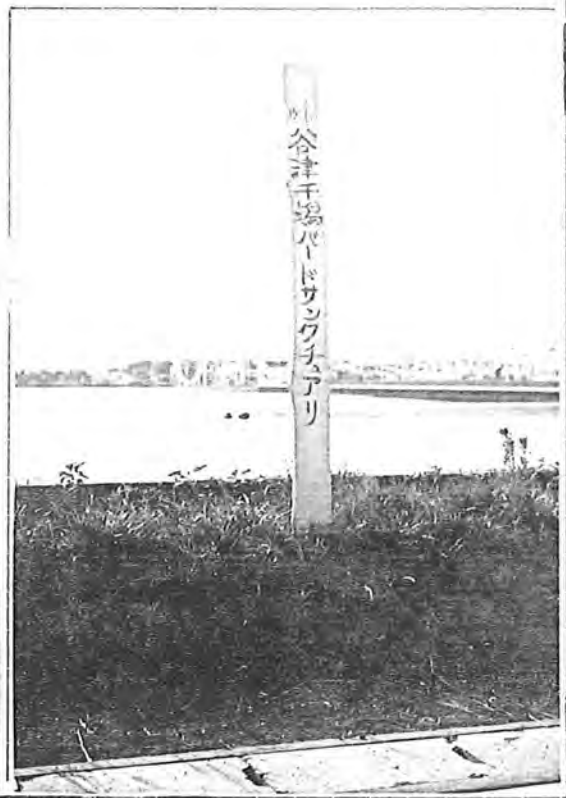
# 干潟の環境整備、ひととおりやり終えました

約三ヶ月  
かかりました

＊ ＊ ＊

草刈り・テー  
ブルとベンチの  
修理・トータム  
ポールと看板と標識の製作と  
整理・ペンキの塗り替え・フ  
ローネの小屋とバンブーハウ  
スの製作・ゴミを入れたドラ  
ムカンの手入れ・干潟に降り  
る為のハニゴの手入れなど、そ  
の他いろいろなことでした。

津田沼高校の生徒が干潟のそばを清掃  
いつものように、干潟のまわりのゴミを拾いに行くと、  
この通りでした。愛護研究会と交換うれし限りです。



夏休みに向けて  
子供とお母さんの為の  
「谷津干潟展」

・国電津田沼駅南口・三井  
銀行

・七月中旬ヨリ約一ヶ月  
干潟の生物・ボランティア  
活動・環境写真

「幻の湖」にメダカ50匹放つ。全員無事！ワ

# ふがんど

号227

1982.7.25

谷津干潟愛護研究会  
 〒270 習志野市谷津干潟  
 電話〇四七四一五一五〇四四  
 編集 森田三郎

会費年2000

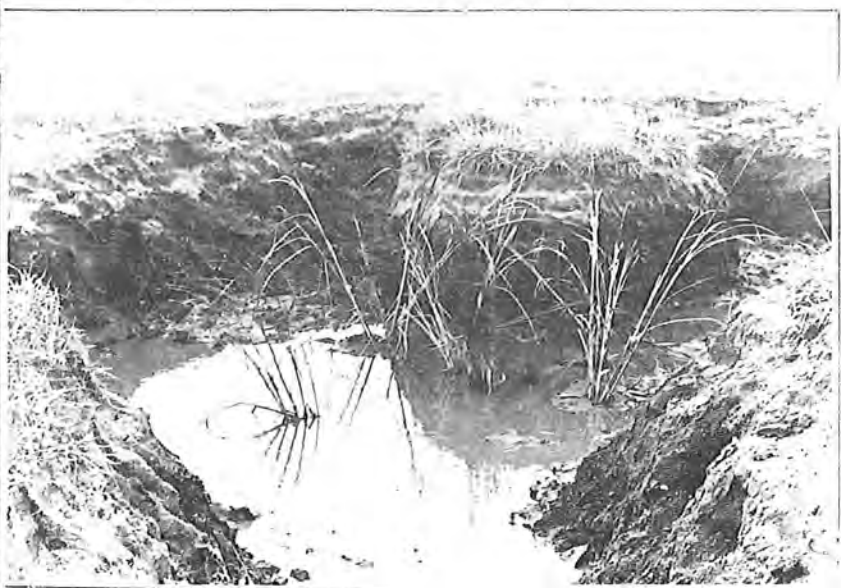
創刊  
1980.6.3

## 埋め立て地では初の試み

七月十七日に百匹。更に、七月二十一日に二百五十匹放すました。皆元気に氷ぎまわっております。

した。それが今は、どこにも全くなくなってしまいました。尚、メダカは、藤富敦郎氏が昨年、埋め立て地の池で実験的に放す、大繁殖したものです。「メダカの学校の再現」の為、連日夜九時十時まで作業をしています。

ミズスマシヤゲンゴロウと来るようになりました。そして、シオカラトンボ・ムギワラトンボ・アカトンボなどと来て、水を飲んだり、卵を産み落としています。



## 9月5日「谷津干潟クリーン大作戦」 (田) に参加と協力を

主催

(財) 日本野鳥の会本部事務局  
 〃 〃 千葉県支部  
 谷津干潟愛護研究会

すでに、日本ナチュラリスト協会、日本野鳥の会、千葉県支部などから申し込みが相次いであります。個人、団体、町会、企業など、どんな方法でもよいのです。ゴミ袋などカンパして下さい。広く大きくこの運動を盛り上げたいと思います。

◎ 盛り上げよう、市民運動リ谷津干潟クリーン大作戦

# 手紙の紹介・・・全国的な悩みだと思います



## 谷津干潟バードサンクチュアリ

環境整備はひと通り終えました。しかし

こつとボランティア活動が行われています。

し、干潟とそのまわりでは常日頃より、こつ

を守りたいと思います。そしてそのために、ハマスの繁みから出るビニールや、松林のあき缶、石が浜のガラス瓶をなんとかしたいのです。きれいな、生き物には住みやすい干潟にしたいです。ごみとひらうという一番地味でつらい仕事から、この知した干潟を守りつづけていく芽が生まれてくるように思えます。多くの人に、そして生き物たちに伝わっているのですから。

勝手ばかり書きました。よろしくご指導願います。

7月10日

森田 三郎様

佐藤 和子

皆さんに、右の手紙を読んでもらいたい。このようなことは、仙台の蒲生干潟だけでなく、日本全国各地で、その内容と程度こそがえ、ゴミの問題を抱えているからです。返事として、「谷津干潟クリーン作戦」の込めてきた道のりと、常に実践躬行・勇往邁進するよう書いておきました。

初めまして。仙台の蒲生を守る会の佐藤と申します。突然のおたより失礼いたします。

6月29日の毎日新聞、拝見しました。私たちの会も仙台市北部を流れる七北田川の河口にひらがる蒲生干潟を相手にしています。この干潟は谷津干潟に比べると、とても小さいものです。けれど、やはり休日ともなると多くの仙台市民でにぎわいます。

こちらでも、川の上流から、海からあとからあとごみがやってきます。年に一度、近くの小学校全員で400人で大掃除をしています。私たちの会でも、ごみ拾いの声が上がりました。けれど、実現しないのは、みんなごみの後始末にたいして結論がないためです。仙台市清掃部に話を合せていただき、粗大ごみとして処理すると一回ごとにお金がかかります。休日はできないとのこと。また、曜日ごとに河内を回っている車は現在走っていない。これ以上は運送できない。穴を掘って埋めてくれるというので、海べり、台風でもきた高潮がくれば元の木阿弥です。また、エにかえることのないビニール、プラスチック、缶、あき缶など、うめていけば足りていません。そこで、こちらで集められたごみの処理方法についてどうして、いろんなか伺いたいと思い、図々しくペンをとりました。ちよび会でその話をしていた時の記事でしたので、渡りに舟と棄ててしまいました。(もちろん自分たちで試行錯誤してみるべきなのから)

6月20日には、毎年行っているコアジサシの営巣調査をしました。大きな集団としては北限だろうといわれています。砂の上にじかに生みつけられた小さな砂色の卵やヒナを1つ1つ、縦120cm横700cmにわたり、20m×5mのメッシュをつくらせてかえしました。今年は約400の卵がみかかりました。そして、はめるように砂が浜や干潟を相手にしていると、奥にたくさんの生命たちが、ここで育ち、旅立ち、懸命に生きていることを実感できます。

宮城県は6月28日に、仙台湾港整備本部を発足させ、干潟と隣接している港を国際貿易港にすべく、拡張計画を進めています。11年前、やとの思いで埋め立てから守ったこの干潟です。なんとしてもこの小さな生き物たちの、そして私たちの、いこいの場

> SOS < 1000匹のメダカが、生きたまま埋められます。

# ふかんど

№228号

1982.7.30

谷津干潟愛護研究会  
〒270 習志野市谷津干七 跡部五号  
電話〇四七四一五〇四四  
編集 森田三郎

会費 年2000

創刊  
1980.6.3

「メダカの池」危うし。

「メダカを救おう」

「メダカ、フナ、ドジョウ、クチボソ、タナゴ、ゲンゴロウ、ミズスマシなどを、このへんの子供たちに教えてやろう」。そんなが私産、谷津干潟愛護研究会の強願りでした。

「谷津干潟自然緑地」で、昨年より手かけ始め、この一ヶ月半は、日夜、雨の日と風の日は、汗と泥にまみれて精力的に作業して参りました。

全て人力の、六メートルと十二メートルのヒョウタン型に近しい形をしており、まん中に大きな島を作っております。水深は、最終的には二十センチメートルと三十センチメートルになります。まわりには、ゆるくて長い傾斜をつけています。水の中には、この辺から全く姿を消してしまっただ、ガマや水草を入れてあります。

とりあえずメダカを、約千匹、五回に

わたって救いました。メダカは皆、元気になっ  
イスイと池の中を泳ぎまわっています。

企業者、一方的に埋め立て  
を通す口

「愛護研究会」には、まだ何の向い合わせ  
と連絡とありませんが、会員のM・Kさんが  
企業者より聞かされ、そのことを森田に話し  
てくれました。「どうしても埋める、その他は  
何も考えることはありません」という  
ことを聞いております。

私産は、安全には十二分に考えて計画して  
おります。思い切ったゆるやかな斜面。極力  
浅い水深へ魚がすめれば良い。水の中には  
一メートル間かくに杭を打つ。池のまわりに  
はサクを作る。その他二、三考えており、現  
在作業中であります。

子供産の為に、「メダカの  
学校」を再現しましよつ

「来てはいいなり、入ってはいいなり」と  
ってはいいなり、融ってはいいなり……  
し。これでは子供があんまりかわいそうです。

「1000匹のメダカの学校」を助けて下さい。皆様のご協力をお願いいたします。

お振込は千葉銀行012-54253  
谷津干潟愛護研究会

### 森田の心情と決意

たとえ、何回埋められようが、何回傷つき、最悪の場合は逮捕されようが、そんなことなれと思いますが、森田をはじめその心のある会員は、「メダカの学校」を作ってく、作り抜きます。勿論、「矢おとて」のすべて<sup>の</sup>面には、森田一人だけ立ちます。今まで、七人の会員が、大なり小なり協力してくれました。企業方は、ダンパーで、「ドサッ」と土砂を入れて、あとはブルドーザーで平らにしてしまうそうです。多大の人

野鳥を見る事には、昔から興味がありました。でも、この、自分の目で見たのは初めてで、4種類、や、5種類でいいか？  
谷津干潟に来たのも初めてですか？  
何かからず、自然のこの事、~~安心~~安心したか？  
埋め立ての問題、これはあるところ、不安です。初めて自分で、この見に来た、今、気持ち大切に、12行きた、です。  
これ、谷津干潟か、いつでも、のこのこと、願って、います。  
ペットの限らず、自然、鳥たちも大切に!!

力を劣してきたとは言え、機械力ではごく短時間で、千匹のメダカの池は埋まってしまうでしょう。  
皆さん、谷津干潟の近くで、否慮くでも、メダカが見られ、泳ぎ、すくえるような所が、ただの一ヶ所でも有るでしょうか？。一ヶ所と、どこにもないんですよ、谷津干潟には、いくつもの団体や自然保護関係者がありまいていて、なんのかんのとエラそうなところ、さかんに言っていますが、たった一匹のメダカすら、すまわすことが出来ないので、行政も、我々も、メダカと子供産に申しわけなりと思いませんか。

7月24日(土) AM 7:00  
子供の夏休みの宿題で「野鳥の観察」を好事になりました。望遠鏡で観察しましたが鳥名がほとんど解りません。おしえて下さい。

白い水色の鳥... さきでしようか。  
"これより少し大きい鳥...  
からたに模様のある鳥...  
これ以外にも居るのでしようか  
夜はどこへ行っているのでしょうか。



# 子供たちへの贈り物の

# ふかんど

№229号

1982.8.6

谷津千潟愛護研究会  
〒275 習志野市谷津三七七 鶴荘E号  
電話〇四七四一五〇四四  
編集 森田三郎

会費 年2000

創刊  
1980.6.3



アミを持ってすくりに来た子供。こんな所にメダカがいるなんて信じられないって。

## メダカの学校を再現

さっそく子供たちが、次々とすくりに来ております。

今まで、八回にわたって、合計約千三百匹のメダカが放されました。水とすっかり澄んできて、底まではっきり見えるようになりました。その為、いたるところで泳ぎまわっているたくさんメダカたちが、手にとるようになっています。

メダカだけではなく、ゲンゴロウ、ミズスマシ、アメンボウなどが泳ぎまわっている姿も、実によくわかるのです。

ガンヤンマ、シオカラトンボ、ムギワラ

秘津田地の中学生、三人です。去年、夏休みの宿題に、谷津千潟をテーマにしたという。



トンボ、ハネトンボ、そしてアカト、ノボが飛んで来て、益んに水の中に卵を産み落しています。

池の中には、一メートルおきぐらりに杭を立て、更に横木を渡してあります。まわりにはゆるやかな斜面をつけ、大量の砂を入れて浅くしています。

この池には、全く淡水の池がなり為か、子供たちは、メダカやミズスマシが泳いでいるのを見て、とってとめずらしかっているのです。指をさし、かん声を上げて、おどろき、そしてよろこんでいます。考えてみれば、無理きなりでしょう。これから、安全と環境に万全を期していくとのです。



誰かが、松の木の下や、まわりの草を刈ってくれました。植えてから五年目です。

「蒲生干潟を守り会」と共に、いっしょに汗を流してみます。向うは、ゴミのことで悩んでいます。五十嵐氏と森田が、蒲生に行くので、ついでにしてきます。

宮城県・仙台市へ  
「クリーン作戦の遠征」  
蒲生干潟で展開

地学部の生徒たちです。毎日こうして、水質や潮の流りを調査しています。



干潟の中へ、ゴムボートを出して、無線で連絡をとりながら、砂や泥の調査。



「谷津干潟展」

三井銀行

国電津田沼駅南口

八月三日～八月二十日

干潟と埋め立て地のこと。

「谷津干潟ボランティア活動」

習志野市 袖ヶ浦公民館

八月十一日～八月二十四日

今までの、私産のやって来た、ボランティア活動の紹介です。

水の中を、メダカがスルスルと泳ぐのを見て、私達は、全ての疲れがスッ飛びました。

# ふかんど

第230号

1982.8.10

谷津干潟愛護研究会  
 〒270 千葉県市川市千鳥 7-7-7 国連ビル  
 電話 0477-415150 四四  
 編集 森田三郎

会費 年2000

創刊  
 1980.6.3

メダカの学校は川の中

まあーっとのぞいて見てごらん

みんなであゆまぎしてらよ

覗いたか 見たか メダカの池を

干潟にくらべりや 小型だけど

真水のおきな 鳥や魚に

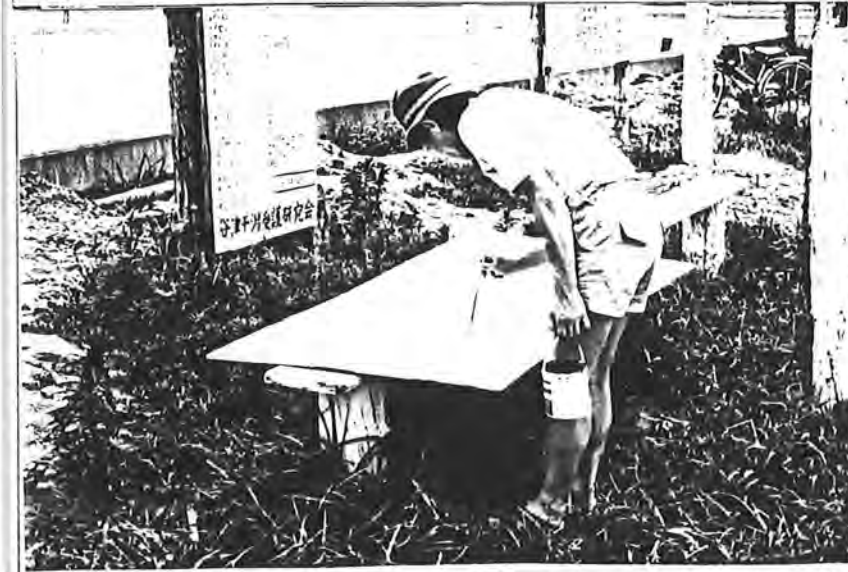
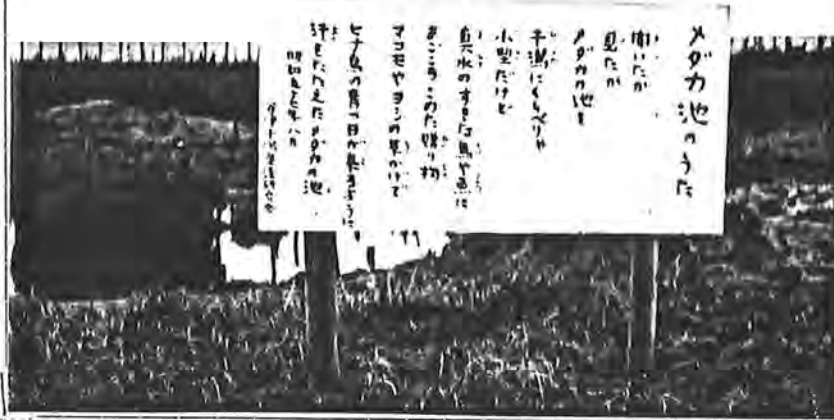
まごころこめた 贈りもの

マコモやヨシの 草かけで

ヒナ鳥の生育 日が来ように

汗をたたえた メダカの池

昭和52年8月 谷津干潟愛護研究会



昭和57年(1982年)8月9日(月曜日)

毎日、すっ裸で水浴びをしています

雲がとてときれいでした。このところ、連日こういう雲が出ています。

急に真夏らしくなりました。メダカ池のチ入り、草刈り、干潟の清掃、環境整備……、汗とホコリと砂だらけ。で、風は秋の気配を感じさせます。



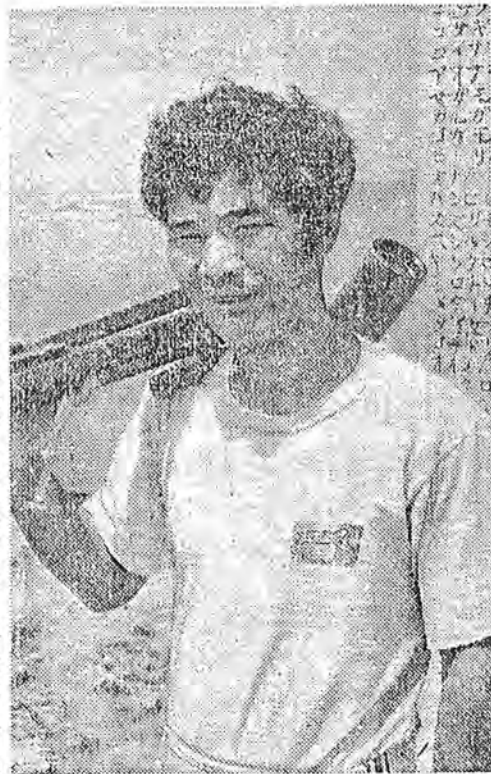
### 谷津干潟 クリーン作戦

日時	9月5日(日)	雨天中止
集合	午前10時 津田沼高校前バス停	(国鉄津田沼駅南口より 秋津香澄団地行バス乗車)
日程	午前10時半~12時半	谷津干潟の内・外の清掃
	午後12時半~1時半	昼食
	午後1時半~2時半	シギ・チドリの観察会
	午後2時半	解散

主催団体

(財)日本野鳥の会本部事務局 03-406-7141  
 " " 千葉県支部 0474-77-4121  
 谷津干潟愛護研究会 0474-51-5044

野鳥の楽園 谷津干潟  
 の運動に取り組む  
**森田三郎さん** 37歳



谷津干潟(千葉県習志野市)といえは、潮干狩りの名所として知られていました。それが東京湾の埋め立てが進んで、いまでは周囲をコンクリートで固められ、海とはわずかに小さな水路でつながっているにすぎません。

こみためのような姿に奮起

### 幼いころの「恩返し」

こみ、それにナマこみなどが大団に投げ捨てられ、まるでこみためのようでした。こみ、そのうち干潟の近くに住む主婦の方々の協力も得られるようになったわけですが、これまでに干潟のクリーン作戦を計六十三回実施してきましたが、これまでに回収したゴミはぎつと四トトラック二台分ぐらいにはなるといいます。

森田さんは会員三十人も取り組んでいる。昨年八月、十四年間つとめてきた新聞販売店をやめ、また住まいも市川市から干潟にすぐ近くの習志野市谷津に移した。独身。

この五月には、日本野鳥の会本部(山下静一会長)や同千葉県支部の人たち約四十人が協力してくれました。九月五日の日曜日にも野鳥の会、日本ナチュラリスト協会など自然保護団体の人、百人近くが参加して大規模なクリーン作戦が行われることになっており、運動の輪は大きく広がっています。

夏休みに入ってから、この干潟の生き物や歴史などを研究テーマに勉強にやってくる子どもが増えてきました。また、最近バード・ウォッチャーよりも一般市民の方が多くなっており、忙しいがやりがいもあるんです。谷津干潟自然緑地は一カ月半かけてひょうたん型のメダカ池もつくりました。環境整備はひと通り終えましたが、あとはなんとして谷津干潟を国設鳥獣保護区に設定してもらいたいですね。こみを残すためにはどんなことでもやる決意です。

長。東京湾奥部に残された最後の野鳥の楽園「谷津干潟」の保護運動にもう八年

千葉県企業庁が、「事実」を認め、「謝罪」をしました。

# ふがんど

号231

1982.9.8

谷津干潟愛護研究会  
〒25 習志野市谷津七 助産部  
電話〇四七四一五〇四四  
文責 木村 田三郎

会費 年2000

創刊  
1980.6.3

## 記録と報告

九月二日(木)、十時五十分〜十二時十分、M新聞社・船橋支局において支局長立ち会いにおいて、千葉県企業庁は森田三郎に対し、

- 一、森田を車ごと、鉄柵・レール敷きの門を締めて監禁状態にした事。
  - 二、企業庁千葉建設事務所職員数人が、森田三郎の体に手をかけて、蹴る、ご突く、小突く、はたく等のことをした事。
  - 三、森田三郎の車から、キイを引っこ抜いて奪ったこと。
  - 四、その他。
- ……以上の事実を認め、かつ謝罪をしました。

右の事は、去る八月十一日(水)、午前十時十分頃から、午前十一時十五分頃の間に、森田三郎に対して企業庁職員がした行動であります。

尚、これらのことは、詳細な記録を作っておりますので、希望者に送りたいと思っております。

## 説明

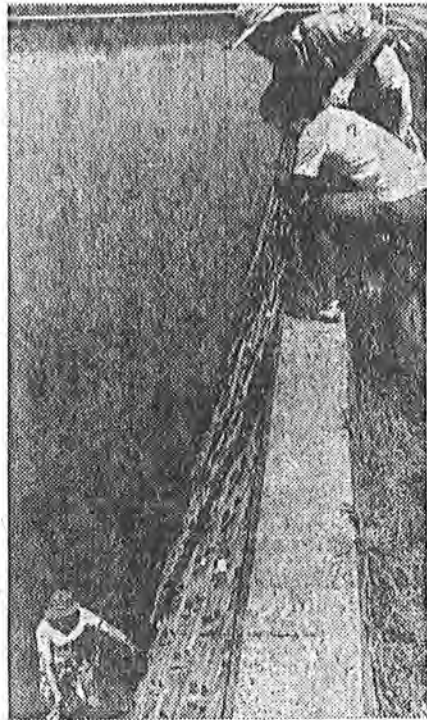
去年、森田は、企業庁長に対し、企業庁用地から谷津干潟や水路に落ちたいくくなゴミ。干潟と水路ぎわのゴミ(企業庁管理地)を清掃してくれよう要望書を出しておきました。そして、何の返答、処置がなされたかについては、現物証拠としてゴミを届けることを連絡しておいたものです。

・八月十一日、企業庁職員は、森田が上記の行為をした人向に番署と氏名を尋ねたが、誰一人として教えてくれなかった。又、伊真をとろうとするが職員は逃げた。森田は、尋ねられればいつでも名前を言い、伊真をとられるのを一度も拒まなかった。

・後日、森田が伊真を持って行った時、臨海事業部長次長・小林氏は、「公務中であつて名前を言う必要はない」と言いました。  
・森田の車が内に入るやいなや、内のそばに職員が三人程待ちかまえていて、「つかまえろあーっ、逃すなー」とか、「よあーし、入ったぞあー、出すなあー」とか、「そあーれ、どう逃げられぬぞあーっ、帰すなあー、いしなんで叫んでいたのでした。

メダカ池の便り

「一人、十匹までだよ」  
 「毎日面倒みています」  
 八月下旬の晴天続きの日など、18Lのポリ  
 タンクで二つづつ、日が暮れてからピストン  
 で水を運んでいたので、  
 「一人、十匹までだよ」  
 「毎日面倒みています」  
 毎日子供たちが来て、とり尽してしま  
 うと思ったからです。子供たちと「自重  
 しているようで、大変うれしい。」  
 で水を運んでいたので、



干潟のゴミを拾う参加者たち  
 —習志野市谷津の谷津干潟で

### 野鳥の楽園 ゴミから守ろう

谷津干潟 百五十人がクリーン作戦

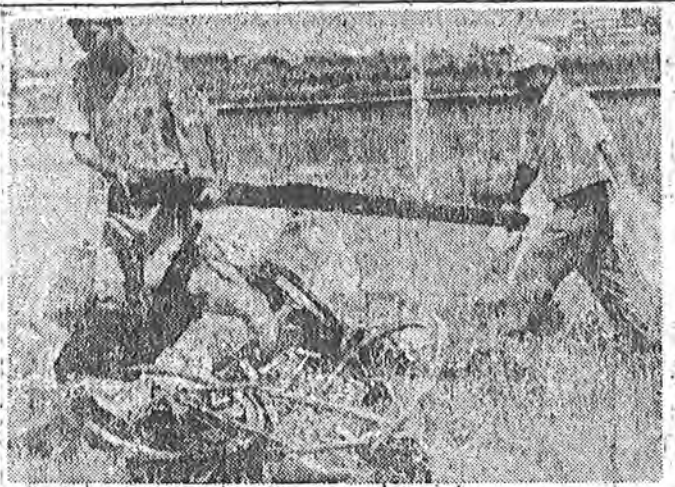
東京湾東部に残された最後の「野市谷津」の大掃除が五日、行  
 野鳥の楽園「谷津干潟」に習志野市、日本野鳥の会東支部、愛護研究会(森田三郎会長)、  
 日本野鳥の会の三団体がいつし

よはって主催した。  
 干潟は面積三千三畝、日本でも有数の渡り鳥渡来地として知られる。しかし、干潟周辺は生活廃棄物などのゴミがいたるところに捨てられている。このため、「ただ野鳥観察するだけでなく、干潟の環境悪化を自分たちの手で防ごう」ということになった。  
 日本ナチュラリスト協会東京支部、日本野鳥の会栃木県支部の人たちも加わり全部で約百五十人が参加、約二時間にわたり干潟の岸べりだけでなく水の中まで入り込んで、空き缶や発泡スチロール、木材、毛布、自転車の車輪などを拾い集めた。

朝日新聞  
 1982.9.6 (月)

## 貴重な自然、この手で……

### 谷津干潟 「野鳥の楽園」の保護を求め 共同クリーン作戦



クリーン作戦で集められた自転車などの大型ゴミ

習志野市にある谷津干潟の鳥獣保護区指定を求め、日本野鳥の会(山下清一(会長)と同会東支部(高橋敏夫支部長)、それに谷津干潟愛護研究会(森田三郎会長)による共同クリーン作戦が、五日、干潟周辺で繰り広げられた。日本野鳥の会では今年から、単なる自然や野鳥の観察ばかりでなく、失われつつある自然環境の回復に取り組む全国的なキャンペーンを進めており、谷津干潟のクリーン作戦は、さる四月に次ぐ、第二弾。東京湾の埋め立て地に残されたわずかの貴重な自然を残そうと、参加者たちは、カラリと晴れ上がった秋空の下で、空き缶やゴミ拾いに汗を流していた。

#### 愛好家150人汗流す

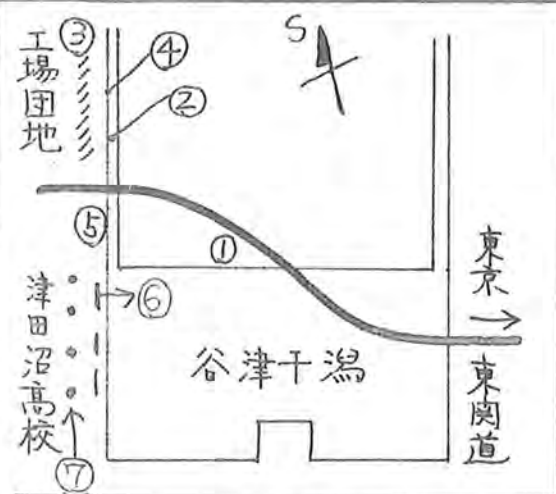
谷津干潟は、全国でも五指に数えられる野鳥の楽園。谷津遊園と海岸道路にはさまれた埋め立て地の一角だが、かつてはトビウオや海ガメが泳ぎ、クジラが打ち上げられたこともある海浜だった。たまたま、こたげが埋め立てを



「草刈り作戦」完了  
 テーブル・ベンチ・フロー  
 木の小屋を使いやすいよう、  
 七月の中旬から進めていまし  
 た。

約10×1  
 トル・長さ100  
 メートルの区  
 間です。草は  
 好きですが、  
 今は一人で  
 多くの人に利  
 用させたい。

参加。中には、栃木県から駆けつけた野鳥の会会員もいて、運動の輪の広がりを物語っていた。  
 参加者たちは「ヘルメットに付けて午前10時から清掃作業を開始。子供たちのグループは、ヘルメットを手に干潟に降りて空き缶などをかき集め、袋はまたたく間に一杯。  
 また、別の大人のグループは、ひさまで水につかりながら、底に沈んでいた自転車や古タイヤなどを大型ゴミを拾い上げ、ロープで岸辺の上に引き揚げた。  
 同会東支部の役員たちは、「このクリーン作戦を繰り返して、この干潟で住民運動の実績を作り、干潟を管理している大蔵省や環境庁などに鳥獣保護区指定を強く働きかけていく」とクリーン作戦がさらに活発化するを願っていた。

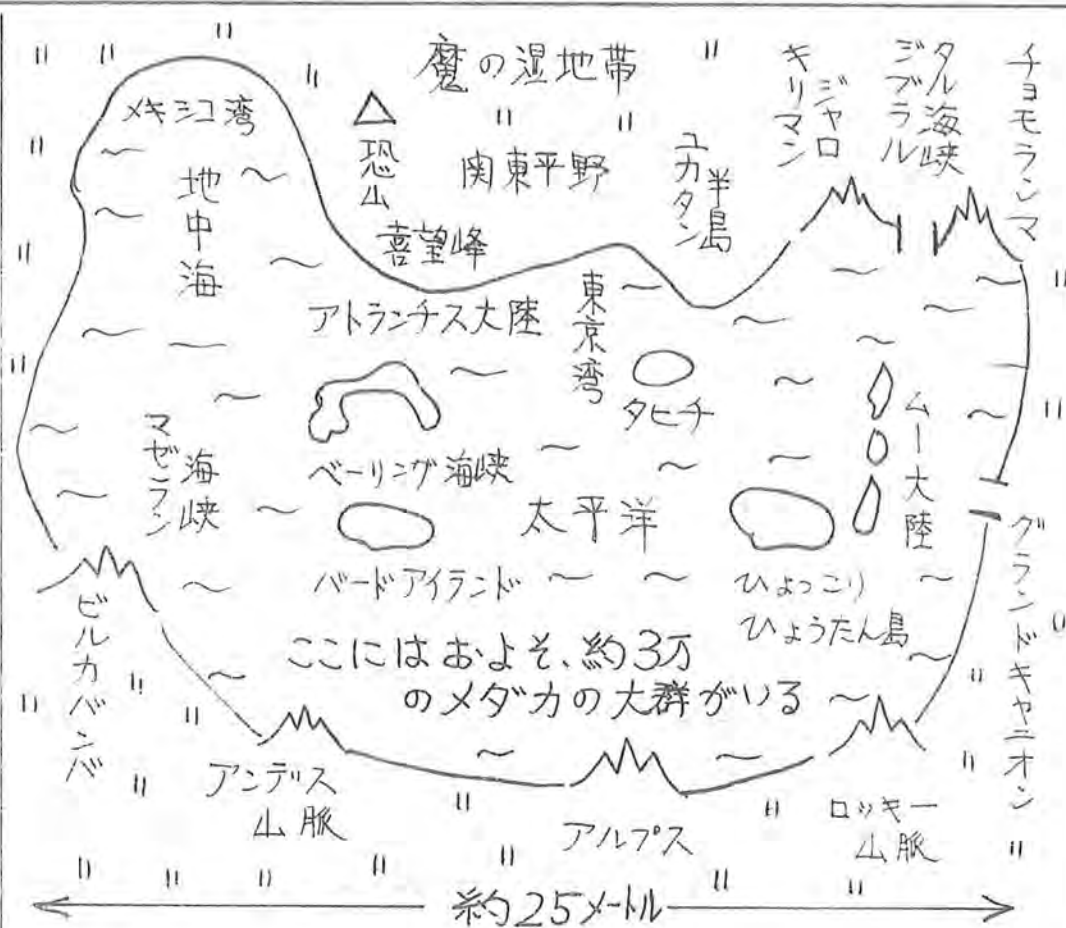


千潟の環境美化の為に

愛護研究会（高木親子・森田）は、企業庁千葉建設事務所マ  
長（他三名）を現地案内し、次の事に合意しました。

- ①、砂利・石ころをとり除いて砂を敷き、きれいにする。
- ②、水路の清掃とくさくさをする。
- ③、水路の近くにゴミを

- 全てきれいにする。
  - ④、時々油が出ているので、それをなくす。
  - ⑤、炭  
カラ・砂利をとかし、整地・緑化す  
ること。
  - ⑥、ゴミ捨て防止の看板を  
立てる（警察と企業庁の名前で）。
  - ⑦、クズガゴを四つ設置する。
- 以上です。その他、希望があった  
ら是非伝えて下さいとの事（所長）。



彫刻家の如くに  
ちようど、シヤベルが「ノミ」に  
なっております。  
毎日、夜九時ごろまで、こつこ  
と作ってきました。星と月が澄んで、  
夜になると寒いくらいです。夜の  
ばりの中、池からはもうくとモヤ  
が湧きあがり、それが風によって、  
アルプスやロッキーマウンテンをこえて流  
れてゆき、幽玄な感じがします。

ふかんど

第232号

1982.10.25

谷津千潟愛護研究会  
千葉県野田市長 電話 0476-22-1111  
文責 森田三郎

会費年2000

創刊  
1980.6.3

お告知せ  
谷津千潟のボランティア活動TVに出ます  
11月3日 文化の日 TBS⑥ 3.30~5.00 「野生動物  
SOS」  
来日するイギリスのエジンバラ公と、黒柳徹子  
が対談する時に放映されます。

< 近 況 >

お知らせ・連絡

ベニ子と草むらにあそびに来た幼稚園  
児たち。よく来る。帰る時、皆んな揃って  
「おじさんありがとあう」と言ってくれた。



谷津干潟クリーン作戦が、  
10月17日(日)へ才63回、10月19日(火)へ才  
64回へ行なわれました。そして、ゴミを  
16袋ひろいあげました。

11月7日(日) 谷津干潟親子探鳥会

主催 日本野鳥の会・千葉県支部  
連絡 0472-463194 志村方  
∴ 100人位の参加者があります。

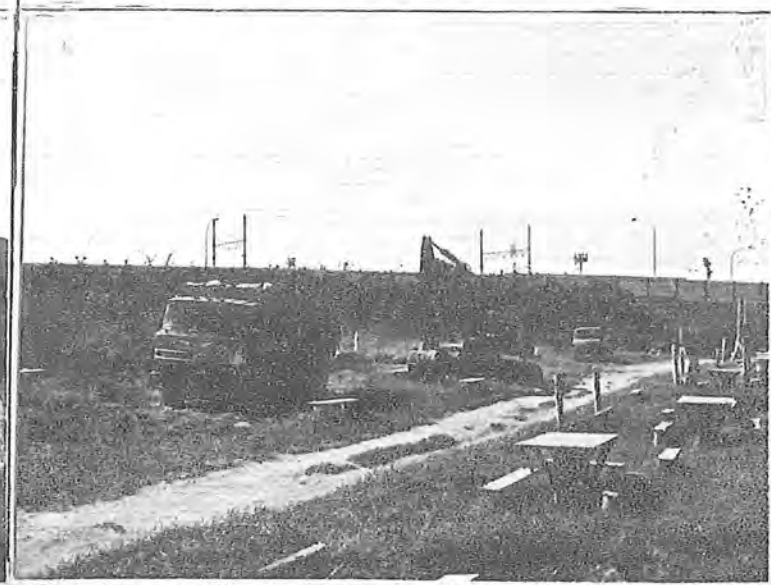
習志野市文化祭(10月29日〜11月3日)・  
袖ヶ浦公民館において、谷津干潟展・谷津  
干潟ボランティア活動の写真パネルが展  
示されます。写真展は今年これで、八回目。

10月22・23日、習志野市立才三中学校で  
文化祭があり、その時一年五組は谷津干潟  
を研究テーマにして、学校から表彰されま  
した。愛護会の写真パネル50枚が利用され  
、先生と生徒からお礼を言われました。

「オレ、アンタのこと知ってるよ、新聞  
で。モノはついでってこともあるさあ、ち  
よっと手伝ってやるよ」と、パワーショベルの人。

メダカの池に、たくさんの子供たちが来て  
、水あそびをしている。立っている高いクイ  
には、「アンタスル豚」と書いてある。

(前ページの①を参照)。石コロ・コ  
ンクリートをとり除いて、砂を敷いてい  
る所です。すっかりきれいになりました。





# ふかんど

才 233 号

1982.11.10

谷津干潟愛護研究会

〒270 習志野市谷津七丁目三番五号  
電話〇四七四一五〇四四

編集 森田三郎

会費年 2000

発足  
1974.12.9

## 砂入れ作戦の

### カニの生息範囲

を拡大させました

左の、「FOD」の写真

を見て下さい。黒いつぶつ

ぶは、全部ヤマトオサガニ

というカニなんです。

六年前より、愛護研究会

は、干潟の三ヶ所で砂入れ

の実験を、くわしく観察し  
ながら進めて来ました。

とくに、81年10月から82

年五月にかけては、過去の

実験を生かし、大規模に展

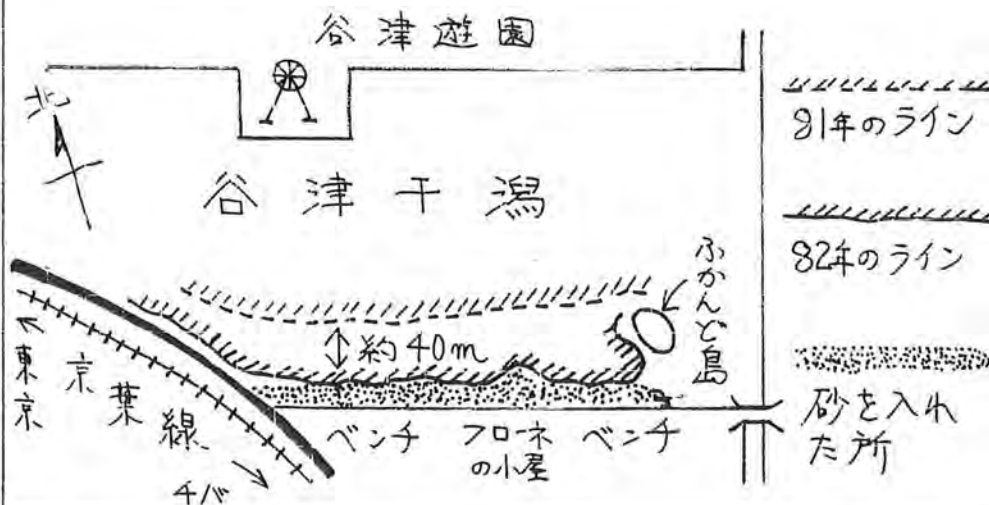
開しました。その結果、ベン

チの方に40m程、生息範囲

が拡大・前進し、堤防の所

に接してしまい、干潟の地

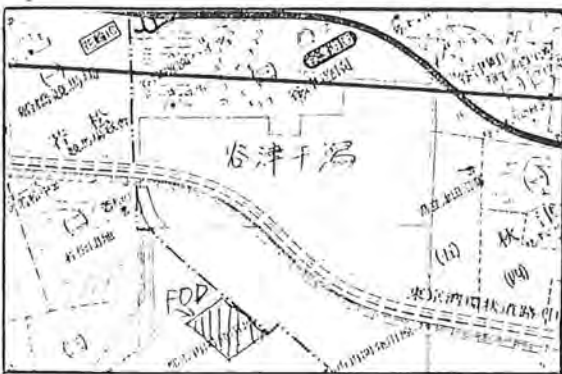
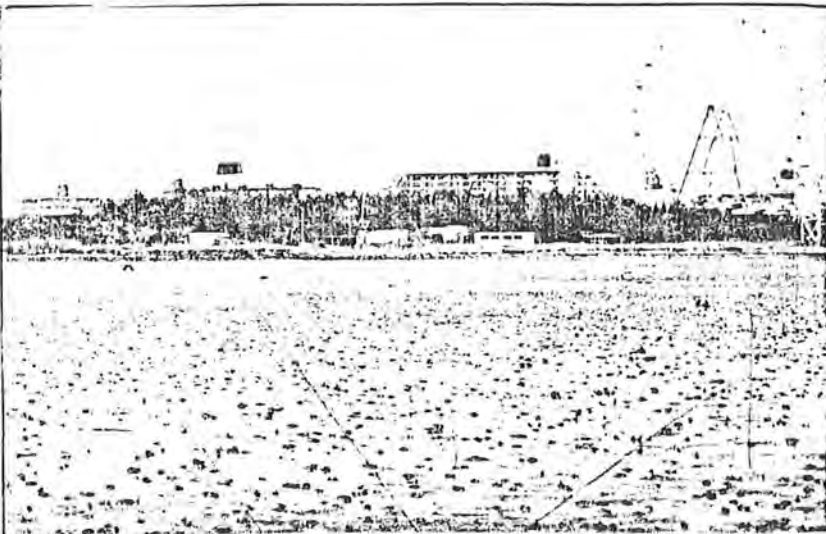
質もだいが良くなりました。



## 生き残った

# 谷津干潟

あなたは、谷津干潟  
のことを知っていますか  
。FODのすぐ近くにあ



るのですが、まだ見たことがない  
人もいます。思います。

「谷津干潟」という名前は今、国際  
的に知られるようになった。昔は、  
「ふかんど」と呼ばれていた。故々  
の思い出と共に懐しかった私の少年  
時代を豊かに、そして力強く育んで  
くれた、あれから三十年、かつての  
大きな遠浅の海も、野原も、小川も  
沼も、水車や風車も少年時代のこと  
ごとくは、その姿を消してしまった。  
今、私は大人になった。今度は私  
が、ふかんとと谷津干潟を守り育む  
番だと思つた。夕焼けの干潟上空を  
出雲守三郎の如く、タビタビと想い  
ながら、私の胸のみならず五臓六腑に  
まで、その姿を消してしまつた。  
「ふかんど」から飛来する渡り鳥た  
く、しつかりとこの両手に抱きか  
かえている。ふかんどは私の躍動す  
る源である。

これは、谷津干潟愛護研究会の  
会費です。

「フロンティア」のふかんどは、保

# 埋め立て地の渡り鳥 大繁殖は一時の夢に

研究家が8年間調査

(朝日新聞・京葉版 1982.11.5)



ヒナをかえしたコチドリ(55年春、千葉市幕張で)

けで、四十年代から東京湾岸で大繁殖したらしい。森田さんは、五十年からの三種の鳥の調査を始めた。江戸川と荒川には含まれた東京都の「葛西地区」、その隣の「浦安地区」、さらに船橋、習志野、千葉市にまたがる「京葉・幕張地区」を歩いて、それぞれ地区の巣を数えた。一人一人合計二千五百羽の巨大な埋め立て地を歩くため時間的なスリもあるが、他に例のない実数調査といえるものだ。



貝からまじりの砂地に産卵されたシロチドリの卵。保護色になっている。55年春、千葉市幕張で

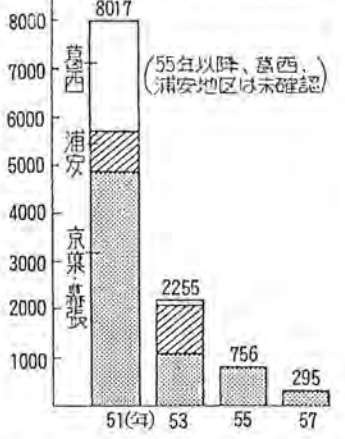
五十五年は、葛西、浦安で巣が確認できなくなった。さらにことしは、群生する繁殖地が千葉市の幕張地区に限られ、巣の数はコアジサシが百七十九、シロチドリ百九、コチドリ七に減ってしまった。七年前に三十分の一近くに激減したわけだ。繁殖地のほとんどは宅地・工場に変わった。建物ができなくても、盛り土をするなどの造成で、鳥たちに必要な餌が埋められたり、土が硬くなった。こうした繁殖環境の悪化に加えて、ブルドーザーで卵やヒナが大群に押しつぶされたり、人が卵を持ち去ったりするのを森田さんはたまに目にしている。まともな調査をしているのは埋め立て地だが、工事があちこちで始まっており、繁殖地が消えるのは時間の問題だ。森田さんは「あっとい間に減っている。もともと東京湾には少ししか残っていなかった鳥たちだが、砂漠のような造成地に残った。お花」のようで、あわれだと話している。

## 開発で追われ激減

### 巣の数は三十分の一に

東京湾岸の埋め立て地で大繁殖していた渡り鳥のコアジサシ、シロチドリ、コチドリが激減を続けている。これらの鳥の生息地になっている谷津干潟の保存を訴えている国土海産部研究員の森田三郎さん(55)が、八年間、埋め立て地のコアジサシを歩き回って調査した結果、五十年前には、八千を越えた巣の数が、ことしは三百足らずになっていた。しかも確認された繁殖地は千葉市の幕張地区だけ。それも二、三年のうちに消滅する公算が大いという。コアジサシなどが増えたのは、荒れた埋め立て地の増殖が、繁殖にうってついていた、という「二時的な現象」。埋め立て地の整備が進むと、数が減っているわけだが、野鳥の世界が開発に湖弄(ぼんぼん)される例を示したといえる。森田さん(写真)

東京湾岸埋め立て地のコアジサシ、シロチドリ、コチドリの巣の数の推移



コアジサシは、東南アジアからやってくる南方系、シロチドリ、コチドリはシベリアからの北方系の渡り鳥。四月下旬から八月下旬にかけて飛来、産卵してヒナをかえし、九月になると南と北に飛んでゆく。これらの野鳥の産卵場所は、本来、小石や貝殻まじりの河口周辺だった。オストメスがつかいで、貝殻を集めて巣作りして、三、四個の卵を産む。とこ



卵をあためるコアジサシ(55年夏、千葉市幕張で)

## 谷津干潟に来た渡り鳥の一覧表

今まで、谷津干潟に来

た、鳥の名前を全部書き

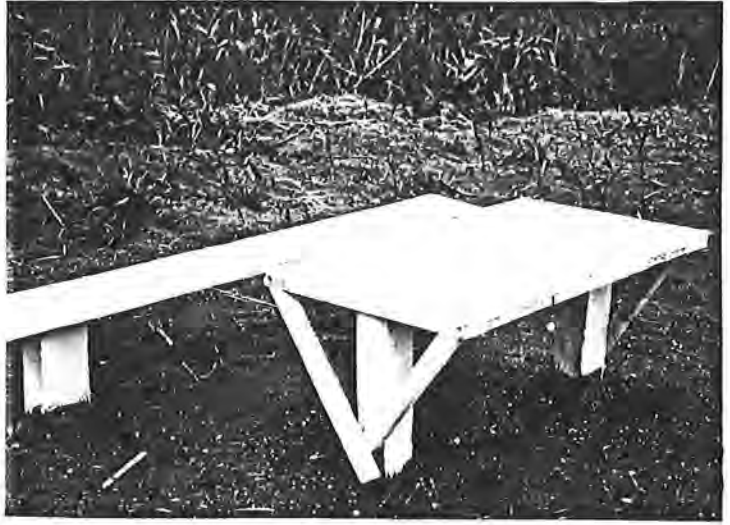
た看板を立てられました

。オットセイやヘビの名

前も入っています。

谷津干潟の確認鳥

シロチドリ	100	200	300	400	500	600	700	800	900	1000	1100	1200	1300	1400	1500	1600	1700	1800	1900	2000	2100	2200	2300	2400	2500	2600	2700	2800	2900	3000	3100	3200	3300	3400	3500	3600	3700	3800	3900	4000	4100	4200	4300	4400	4500	4600	4700	4800	4900	5000	5100	5200	5300	5400	5500	5600	5700	5800	5900	6000	6100	6200	6300	6400	6500	6600	6700	6800	6900	7000	7100	7200	7300	7400	7500	7600	7700	7800	7900	8000	8100	8200	8300	8400	8500	8600	8700	8800	8900	9000	9100	9200	9300	9400	9500	9600	9700	9800	9900	10000
-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------



メダカ池のそばに、白いテーブルとベンチ  
ひよっこりひょうた  
ん島やホテイアオイ、  
メダカの群が泳ぐそば  
で、ごはんをどうぞ。

# ふかんど

オ234号

1982.11.17

谷津干潟愛護研究会  
〒26 習志野市新港三丁目七番地  
電話〇四七四一五〇四四  
文責 森田三郎

会費 2000

発行 1974.12.9

厚かましく、又、恥しく……

まず、ざっと並べてみよう。

洗濯、入浴、車のいろいろな修理、ご飯と食事、ゴミ袋、お茶、コーヒーやジュースやサイダー、着物、はき物やくつ下、写真、果物やお菓子の類、シャワー、水道、いろいろな日用品の種々、印刷物など、まだまだその他たくさん……。

一般市民がらのカニパと、谷津干潟に関係する個体の中では、私産が断然多いと思う。

「森田さん産り、大変なんでしょう。それに、森田さんは、ドクミン、だから、身のまわりが行き届かないんですよ。……、よくそう言うのです。……、更と言うと、ほんとうに森田は、とっ

てきとってき助かっているのです。たとえば洗濯ひとつをとってき、どんなに汚い、袋にぎゅうく／＼つめ込んで、「……すみません、……」と言って出すと、きちんとしてたんで、きれいになって返ってくるのだ。だからへと言っちゃ何だけれい、それだからこそ、干潟でのあらゆる作業、ペニギ、清掃、草刈り、土方作業などに、全力を尽して、遠征できるのである。

その主婦が時々言うには、「森田さんののはさあ、あんまり、砂や草なんかすごくてさあ、排水口がつかまっちゃうんじゃないかと思ってるさあ、……」ですって。森田は、すると、「ん、まあ、まあ、でどねえ、……すみません、わかるねえ、大丈夫、……」と言った。森田、トモリながら、感謝しております。

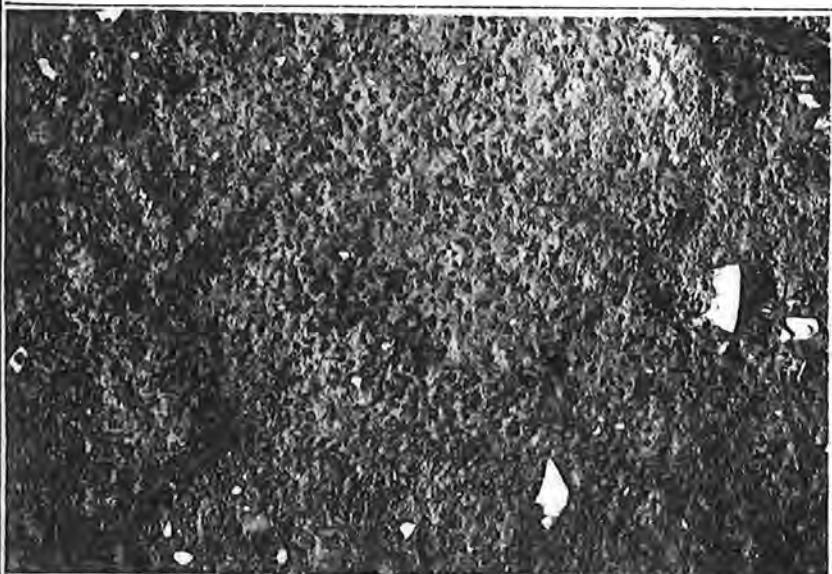
## クリーン作戦と並行して

上下の写真とど、ゴカイの穴である。ととは、あらゆるゴミがおおひ、ガレキの山だった所である。

私産は、清掃すると共に砂を入れ、精力的に環境改善を進めていったのである。



近くから

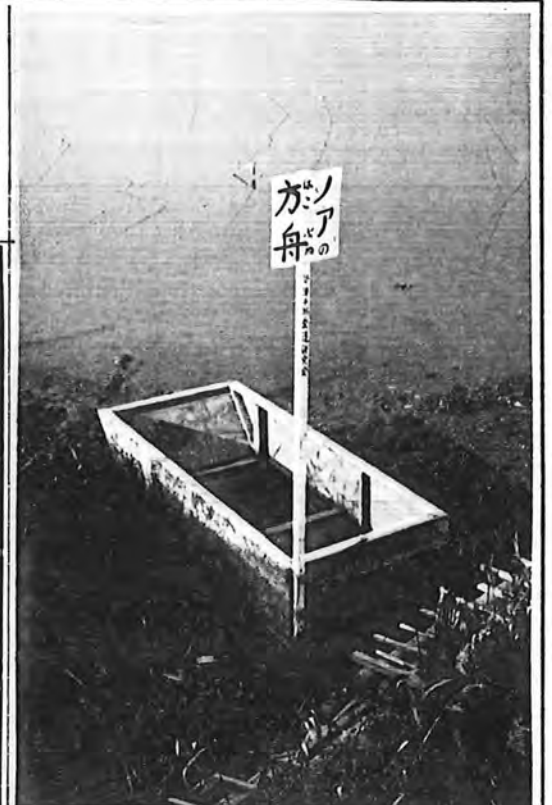


遠くから



全国をいと言えど、ここ谷津干潟く  
らい、流木をうまく使っている所はま  
ずないでしょう。  
ここでは、誰か、何を作ってまいると  
思います。ところで、今度、「流木作品  
展」でどやってみようかしらーい。

いかがでしょうか  
谷津干潟の御神木  
↓  
乗って見ませんか  
ノアの方舟  
はこぶね



干潟に来る市民の為に  
谷津干潟は今、バードウォッチャーよ  
りと、草むらやベンチには、近くの市民  
の方がずっと多く来るのです。  
利用する方法を考えた、とくに、ゴ  
ミの後始末には気を使っています。環境  
保全と利用、中々大変ですね。

# ふかんど

第235号

1982.11.19

谷津干瀬愛読研究会

〒270 習志野市谷津三十七 郵便5号  
電話0474-51150(四四)

編集 森田三郎

会費 年2000

創立  
1974.12.9



第65回 谷津干瀬クリーン作戦 11月16日(火)  
谷津三丁目 前 左 宮川郁子さん 右 松枝多加子さん  
後方は集めたゴミの山

「これでえ、足りんかどおか知んわけ  
どよああ、おわったらみんなでえ、やっ  
てくんぬえかあ。んじやあよあー、ほれ  
よあ、ここんさあおいとくかうよあ、冷  
えぬえうちにいけんせえよあー、し。  
そう言いながら、半ば腰の曲りかけたお  
ばあさんが、ずたくとぞうりの音を立  
てて、お盆と魔法瓶を堤防の上に置きに  
来た。

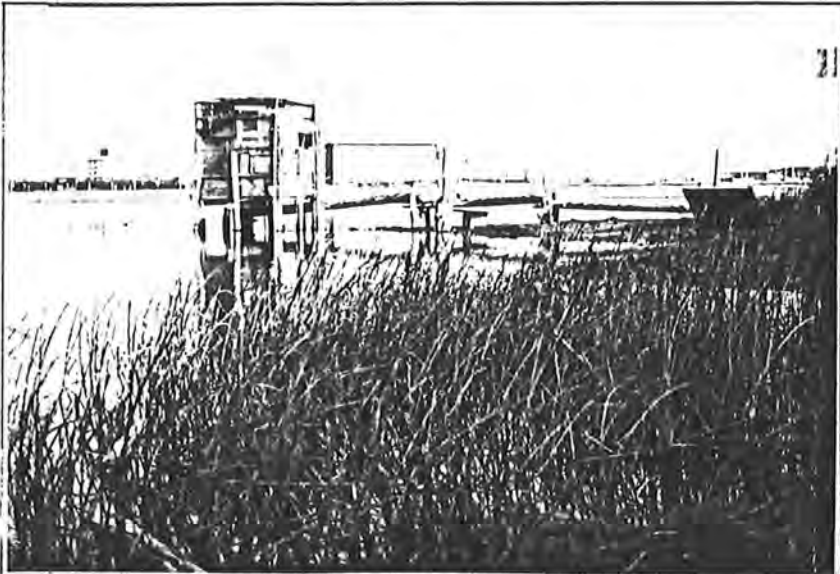
お盆の上には、せんべい、菓子、湯呑  
、お新香があった。「すみません、わ  
ざく余計な気をつかわせてえ、たすか  
るわあり、それじゃあー遠慮なく頂くわ  
あ、ありがとうございます」と、クリーン作戦に  
参加した主婦の松枝さんと、どう一人の  
宮川さんが言った。

三人でお茶を飲みながら、せんべいを

ホリホリ、大根のお新香をバリ／＼食べてい  
ると、又おばあさんが家から出て来た。小走  
りに近づいたその手には、ノリをまいた大き  
なおむすびが三つあった。「おめえさんがた  
あ、よくやんよなあ、そうじしてえ腹を減っ  
たべやあ、これっ今さあ、オレがにぎってき  
ただよあ、あつくってよあおお急ぎでなあ、  
食べてえくんぬえかあ、なんにとあねえけど  
よあ」と、湯気をたて、ほろにかいお茶を飲  
んでいる三人のまん中にある、大きなお盆の  
上に置いていった。そのおにぎりは、ずっし  
りしっとりとして、温く、かつノリのセリが  
プリンとしていた。

おばあさんの家は、目の前が干瀬で、10メ  
ートルとはなり。干瀬には、人家として最も  
近いのだ。おばあさんは、長年、そして最  
後まで、干瀬にゴミを出してきたうちでもあ  
った。我々が、何の見通しを持ってなく、少数  
でクリーン作戦を続行、悪戦苦闘していた頃  
、住民との険悪ムードの漂う頃、ゴミの上で  
家族の人から組みつかれたこともあった。

手にはほおばるおむすびのぬくもり、舌には  
熱きお茶を感しながら、心には別のモノが  
ー、ガレキの山、悪臭とドロ／＼、パワー  
シヨベルのうなり、クリーン車のワイヤーの  
きしみ、土ノう袋の山、汗、北風、砂ほこり  
、魚とカニの群、崩れたゴミの山、青い水草  
、手袋の中の血、そして次から次へとー。



上下の字真はいすれと、ベンチのある所。中20~30メートルの水草の帯にしたい。



私産の、ボランティア活動は、「二刀流」とも言える。少しでも多くの人に来て

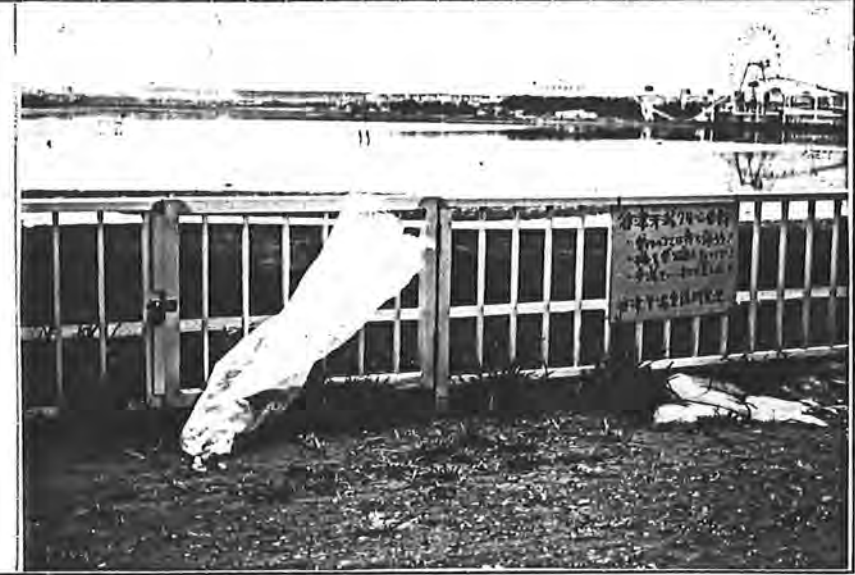
欲しいという希望と、そして、多くの人に来てからにはという備えである。呼ぶかけと、受け入れ態勢である。干潟に対する義務と権利でもある。あるいは、利用と保全でもある。今の谷津干潟を守ってゆく為には、こゆらの二つが必要だと思える。干潟にあるテーブルとベンチ。今まで何人使ったろう。修理と製作はいつも行なわねばならぬのだ。

今でこそ、干潟の埋め立て地がゆには、かなりうっそうとアシヤイカサなど、水辺の草が茂っているが、六、七年前までは殆んどなかったのである。ぐらりととり囲んだコンクリートが、冷たく、むき出しになっ

ていた。そして、

埋め立て地がゆ、つまり、テーブルとベンチのある所の干潟は、ほぼ全線にわたってドロドロで、「臭」の如き状態ですて入れなかつた。中70メートルぐらい、「ベター一面のドロ」でした。とくに、夏になると、赤や黄色、べに色のくさった、気持ちの悪い色になった。ささるんカニもいなし、のっぺら坊で「ヒビ割れ」させました。殺風景で、谷津干潟が最悪の時代があったのである。

以前、ゴミは散らかし放題でしたが、今はこうしておくとかかり入小てくわています。





# ふかんど

№236号

1982.11.29

谷津干潟愛護研究会  
〒275 習志野市谷津幸七 鶴荘6号  
電話0474-511504四  
編集 森田三郎

年会費2000

創立  
1974.12.9

このたび、谷津干潟の周囲を配布地域とするミニコミ紙「団地新聞「ライブ」」が誕生しました。こゝろ、団地やマンション

ョンの中心に、谷津干潟があるのです。「イナミ企画」の伊波尚義氏によるもの。字植、版下など、仕事の方とよろしくお願ひします。

幾千というシギ・チドリが  
せまい谷津干潟の上を飛び舞う。

夕陽をうけて  
まるで紙吹雪のようだ。

追われ追われて  
彼らはこのせまい場所へ

追い込まれたのだ。  
その有様は

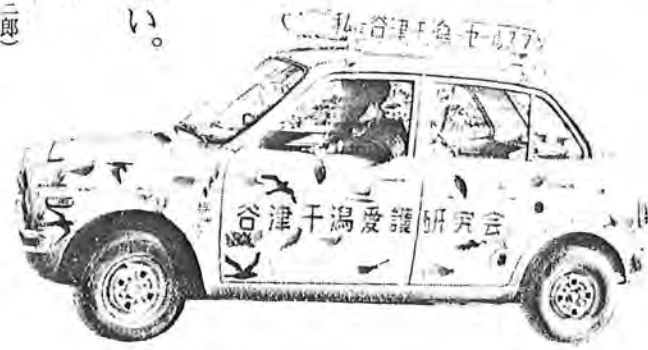
干潟の想い出の  
呼び水である。

その時ほど  
谷津干潟を残そうと

強く深く思ったことはない。  
生きながら埋め立てられた幾億方の  
東京湾の生き物たちへの鎮魂歌  
(森田三郎)

## 干潟がある喜びを

共にして



9月も下旬のある日、自転車で谷津遊園の近くまで行ったついでに、ちよつと廻り道してみたい気になってアカシアハイツの横を通り干潟に抜け、競馬場前の険しい通路を湾岸道路に出、そこから干潟に沿って舗装された自転車道を走って来ると、風変わりな場所に出合いました。ワラ葺きの小屋、丸太を打込んでベニヤ板をのつけただけのテーブルやベンチ、同じく粗末な看板やトータル。かたわらには池もあり、それらには「フロネの小屋」めだかの学校「ひよっこりひょうたん島」など愉快な名前がついているのです。

初めて見る私には、ここはどこかユートピアのようにさえ思えました。なんとなく解放的な気分になって、看板を読みあさり、あらためて干潟に目を向けました。

広大だった干潟を埋め立てて出来た私たちの団地はきちんと区画管理され、自転車道場の増設もままなら

ない。そんな日常の生活圏からは想像もつかないどこにもない場所がこんな近くにあったとは。それから三週間ほどたつて、めだかの池の穴掘りをしてる人を訪ねました。その人が干潟の番人とも云われているらしい森田さんだったので。彼はまさにユートピアなんです。彼の頃に谷津干潟で遊んだ想い出を追い、37才の今に至るまで結婚もせず、干潟とその生きものたちを守るために開いっつけているのです。

かつて、葛西から幕張までの全埋立地をくまなく踏査し、シロチドリ等の全営巣数を調べた報告書をはじめ、彼の開いの記録は新聞雑誌などでたびたび報道されてきたようので、ご存知の方も多いでしょう。

「鳥たちが干潟に生活している」と自体がぼくには嬉しい。そんな所があるという、その喜びをぼくはもらっている」と森田さんは語ってくれました。

(編者)





# ふかんど

※237号

1982.12.16

谷津干潟愛護研究会  
〒275 習志野市谷津字ヤセ 鶴巻荘  
電話〇四七四一五〇四四  
編集 森田三郎

会費年2000

足 1974.12.9

この季節にしては暖かかった、12月12日の日曜日。場所は「フローネの小屋」の中。すぐそばに立ててある、「谷津干潟友の会」の旗が風でパタパタと鳴っているのが聞える。

「ゴミ拾いがオレ達の基本だからな」というのを信條で、うしきとめとしている長塚氏が、干潟でゴミを拾い終え、上にあかっで来てこう言った、「この手さげのついた袋さあ、こねえいいよあ。大きさを手ごらだし、重さだつて3キロ位かなあ、んだからあ、いっぱいになったらさあ、持つ所を結んじやつてえ、上に放り投げちゃえばいいしさあ、んでえそんを後で、上にあかっでから拾い集めればいいんだから。今までの袋は、でっかいしゴミはたくさん入るけど、そうなんとも重くって持ち歩きが大変なんだよなあ。土ノウ袋さあ、大きさは丁度いいけどあ、高えんだろあ？、止めとくべえよあ。んでさあ、土ノウ袋はあ、ガラスとか石とかさあ、さうどおにせしよ

うがねえ時にしかあ使わねえよあにしようよあ。なるたけ金をかけねえよあにしなくつちやなあー。やっぱリビニールってえのは弱いからあ、そんりの重さと大きさを考えなくつちやなあ。大きいビニールはあ重くなつて来ると、途中でやぶけちやんだよああ、んだからああは、癸泡ス

チールとか、大きくて軽いさんだなあ」と。ちよつと長くなつたけれど、長塚氏のこの時の言葉と、ここにこうして引用したのは、実はわけがある。

そのわけとは、他でとなく、「谷津干潟クリーン作戦」が、今までに過て来た道のりと、現在の姿、その赤ら様の、ナマの、ムキ出しの姿を示す、生々しいものだからである。現に森田は、氏の言葉を聞きながら、ふつと過去の、いろ／＼な場面をごく一瞬のうちに想い出さざるを得なかつたからである。

キッと、他の方々と、共に「谷津干潟クリーン作戦」を遂行し、参加して来たのだから、その時その場で、そしてその人なりに、心で、体で、文字通り、「五感」すべてで感じてきたのだらう。語った言葉を聞いたし、又、語らざるも、否、口に出したよりも、とつと／＼多くのことを心の中で思いあぐんだであらうに、と思うのである。干潟の上と下とは、同じゴミ拾いで、まるっきり違うのである。干潟とじかに触れた所では、観察する恰好では全くと言ってよい程、いわゆる「手」が伝わり、ある。すべての面で。干潟に来る人の、どれだけの人が、そのことを、心で、そして体で識っているだらうか？。

一年未にのぞみて記す 森田

干潟にはバ 干潟を目ア 触れテ、持リテ、穿ッ入人ア、知ッテ了トコトはナリヤ、ゴミヲ拾ッテ来ヨ!

クリーン作戦の「ノウハウ」。それは曲豆・向田さあ。それとズバ抜けて...

「谷津干潟クリーン作戦」とは、他なし、実践躬行と試行錯誤の「別名」なり

# 花と緑の京成谷津遊園

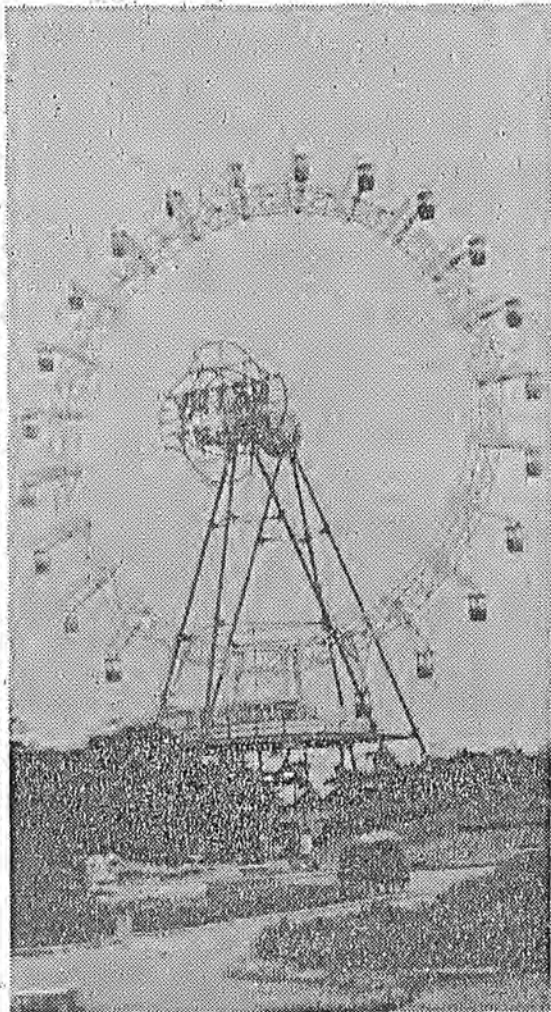
千葉 2/16

# 57年の歴史に幕

「花と緑と動物たち」のキャッチフレーズで県民はじめ関東一円の子供やバラ愛好家たちから親しまれてきた習志野市谷津の京成谷津遊園が二十一日で閉園となる。大正十四年の開園以来、五十七年。京成電鉄本社の経営再建策のために売却されることになったもので、売却先については同本社が民間デベロッパーと最後の詰めを急いでいる。京成では閉園に際し十八日から四日間無料で一般に園内を開放するとともに、十八、十九の両日は「なんでも処分市」を予定。なごりを惜しむ人たちにきわいそう。

## 18日から無料開放

### 21日の「黒字閉園」惜しむ



【関東一円からの入場者にきわっていた谷津遊園は二十一日に閉園する。人気を呼んだシンボルの大観覧車】

同遊園は大正十四年十月、当時植田だった谷津海岸を京成が買収。海浜の出来る豊後ジャングルとして、また、沿線住民や関東一円の人たちの憩いの場所として親しまれてきた。昭和十一年からソウ、トラ、ライオンなどを次々と輸入。植物についても整備を進め、三十二年にはバラ園を開園。その後もコースクリュー、メルヘンランド

なを整備。花と緑、そして動物のキャッチフレーズにふさわしい施設となり、大人から子供たちまで幅広い人気を浴びてきた。同園によると昨年の有料入場者は四百四十万人で、五十三年の百七十万人には及ばなかったが、それでも二十八億円の売り上げで約一億円の黒字となった。しかし、京成本社が五十二年に無配に転落して経営が悪化し五十五年からの再建計画で同遊園を売却する方針が決定。閉園となった。

同園によると、動物はインド象一頭、白熊二頭、チンパンジー十五頭など鳥類も含め百種五百頭（匹）いるが、これらの動物は動物園を通じて、ほほ引き取り先が決まっているという。また、サーフジェットやボートなど遊戯施設二十五機のうち同園のシンボルとなっている大観覧車を除く、すべての機材が北海道の留萌村のルスツ高原カントリーランドに引き取られることになっている。これらの施設や動物は来年早々にそれぞれ引き取り先へ移転、移動する予定という。

売却先については当初、住野都市整備公団を予定していたが、地元習志野市の吉野孝市長がバラ園保存を八項目の条件を付けたため、白紙撤回され、京成側では民間デベロッパーと改めて交渉を進め、現在、最後の詰めの段階を迎えているという。

入園料の無料開放は十八日から二十一日までの四日間、十八、十九の両日は「なんでも処分市」を予定している。

売り出される品物は、ゴーカー、バッテリーカー、ベビーカーなど約百品で値段は百円から三万円。千原度で、京成百貨店の協力で衣料品のバーゲンなども合わせで行う予定。

従業員百十人のうち四十二人がすでに東京デイズにランドに出向している。閉園の静けさに慣れた本多一基園長は「みなさんに愛され、親しまれてきたが、会社の事情でやむなく閉園することになりました」と話している。

毎日来るようになりました  
さう、か小これ2ヶ月

近くパニの耳を投げて来ました。コミミズクが食用として、ネズミをまみすむぶこと。コミミズクの来そうな所草原にクイを立ってあります。今は生きたネズミを置いてあります。



## コミミズクの餌付けです

### 5/20 谷津干潟に行ける自転車道

〇谷津干潟の向こう側に行ける安全なサイクリング・ロードが船取線の横にできたのを存知ですか。グルッと干潟脇をサイクリングすると、とても気持ちよくカニや野鳥が見えて、子どもも喜びます。身近なところ遊びを見つけて、休日にも楽しくなりますね。ただし、ゴミをきちんと持ち帰り、ルールを守って楽しみましょう。（谷津・高川都子）

### 谷津干潟の体操ガニに昔日偲ぶ

〇私たちが習志野市民の目から「遠浅のうみ」が消え去ってしまったもう十年以上の歳月がたつていく。いま私は、昔日の遠浅のうみを偲はせる谷津干潟を見ている。干潟は一面、無数のカニが甲ら干して、すぐ目の前では、小さなハサミを上下に振って、みんないっせいに体操をしている。ああ、そなた、あれだ、あれだ、たまたま「あ」と、私は思った。昔、まだ私が幼かった頃のこの、広大な干潟のまん中で、真夏のまっ白く、むくむくと湧く雄渾な入道雲の下で、まっ黒に、赤銅色に焼けた肌の私に、ガキ大将のマーちゃんか、こう教えてくれた。「サフ、サフ、あれよう、あのカニよ、みんな体操やってんべえ、何でか知ってんかあ、あれはなあ、あやうってんばあみんなよ、お早く潮来んと思つてんだとお、だからみんな、いちいちいぢに、って体操やってんだ。だからあれんとお、体操ガニ」と。その「体操ガニ」が、いま私の前で体操をしている。そして、私は、見つめられているのは、私だと思われた。（谷津・森田三郎）



12/5

### 夕暮れの谷津干潟を歩いて

〇夕暮れ時の谷津干潟に出かけた。初夏にしてはめずらしく暖かな日。真赤だった夕やけも、車の空からさすところ灰黒色におおわれまうとしている時刻。干潟は水を引くはりのみで、ゆったりとした風情だ。回羽もガキが、風と波の方向にむかって休んでいた。カキは、水面の深い藍色も徐々に薄されていく波の上で、さからうことなぐ、鳴き声もなすに描かれていた。頬あたりの白さだろうか、水面の色と対照的に浮かびあがって、作られた美しさでない、静けさやささし、かそこらにあった。可愛いわたがたちの住まいにもさ波が立ち、蒲の穂が揺れた。その間を何十匹ものめだが、逆三角形をなして泳いでいた。ふりかえると原っぱの葦の穂が大きくうねり、そこだけが銀色に光っていた。ほんのぼんぼんまのうなごころで、不思議な世界に入りこんだような気持ちになった。（鮎沼・三代川）



12/5

## ミニコミ誌に出た市民の声

谷津干潟と有名になりました。  
(但し、森田のは依頼によるもの)

(ならしの朝日)

来年はひとつ、谷津干潟クリーン作戦音頭」でも作りましようか？

# ふかんど

号238

1982.12.23

谷津干潟愛護研究会  
〒25 習志野市谷津等七丁目五番五号  
電話〇四七四一五〇四四  
編集 森田三郎

会費 年2000

発行 足  
1974.12.9

山崎統司氏のこと 知らなかつた...

昔、流木は“としき”だったんだ

確か、今年の2、3月頃だったと思う。場所は谷津3丁目の前の干潟。ありとあらゆる物が入り混った、不法投棄物の山を昼夜分たず、文字通り「一寸刻み」で崩し、前庭していった時。雪やみぞれが降っても、夜中、そして2時3時頃までとクリーン作戦をしていた頃。

私(森田)と同輩位の方が、ある日、その所で私が清掃に来るのを待っていてくれた。それ以後、共にクリーン作戦は勿論、テーブルやベンチ、メダカの池やいろいろな作業するようになった。

私は子供の時、としき(薪)を燃やして、ご飯やおつけ(みそ汁)を作っていた。「かまど」とは言わず「へっつり」と言っていた。

どうしての中でお米を舂で計り、とごのとやった。又、おつけの更である、ネギ、ワカメ、ジャガイモ、タマネギなどみんな自分で切った。煮干しのダシを入れ、みそ加減、そして味までちゃんとみて、すっかり作っておくのだった。

家が貧しく、父も母も働いていて、夕方にならないと帰らないので、帰ったらみんなすぐ食事が出来るよう、用意して済ませておいた。

としきは自分で買いに行き、者に担いで

山崎統司さん。それかその方の名前でした。以前、何回かお手紙をもらっていたが、会うのは初めてだった。「一緒にやりたい」と、その心だと言う。当初、気がねしたが、ゴミの山に全力で取り組んでいたの、気がねの気持ちも忘れてしまったのである。

先日、11月の終り、山崎さんの自宅でお茶を頂き、お母さんにお会いした時、こう言われた、「うちの統司(失礼)は、まだ最近病み上りしたばかりなんですよ、い、でもこの頃は十分良くなって喜んでねえ」と。ええ？あの時りそうだったんですかあ、すみません、知りませんでした」と思った。

来た。子供には、としきのたばは重く、そして者が痛かった。だから、うちまでの途中、何回と道ばたで休んだり、左右の者にかわりばんこに担いだ。それらを割って、ヤグラを組んで庭で干したり、軒先に並べて干した。としきをナタで割るに、一本く、木目やフミによって割り方があつたのを体で知った。

おつけの更と、その種類によって、入浴する時が産うのだった。冷や麦やその汁も、子供の私には出来た。それだけで、次の日の朝の、お米やおつけの更も刻んでおくのだった。「フコベ井戸」で水を汲み、大きな桶で家まで持って来た時、体が小さくて倒れてスグめ水になり、私はその場でよくベソをかいていたのだ。

流木を拾りながら、つくづく勿体なりと思つておられます...

「谷津干潟友の会」の腕章は、黄色の布と緑の字とするのに決まりました。よろしく。

# 報告とお礼

## 谷津干潟を自然公園に

谷津干潟愛護研究会

森田 三郎

②

### 甦える

#### 谷津干潟

でも、八年前の昭和五十一年当時には、ほとんどすん有念によつてまかなわれていなかったので。それいます。そして又、市民のは京葉港第二次埋立工事が行われた時、大量の砂やドロがいち時にどつと入つて来てしまい、そのために貝類が全滅したからです。しかし、その後、水路の清掃やボランティア活動による懸命な努力により、断え間ない努力により、谷津干潟に生命が甦つてきたのです。

### 生きた

#### 教科書

干潟の面積は、約40haです。そこには推定五百万のカニの大群と、天文学的数字の、数えきれない程のゴカイがすんでいます。温い日に行くと、干潟一面がカニの姿でひしめき、ご飯の上にゴマをふりかけたような感じですよ。

カニもゴカイも、膨大な量の海水をきれいにしているのです。それは、いろんなゴミや、海水のプランクトンを食べて消化しきつた海水を体外に出すからです。だから、谷津干潟はちやうど、浄化装置やフィルターその役目をしているのです。

潮が引いた干潟で、チゴガニやコマツキガニというカニがその小さなハサミを上下に振って、皆んないっせい

せいに体操しています。だから、このカニを「体操ガニ」ともいいます。

魚も、ものすごい大群で海から水路を通つて入ってきます。その泳ぐ姿が手に取るように見えるのです。干潟が魚だらけになったと思えるくらい、全面に波を立て泳ぎまわり、あつちでもこつちでもビヨンビヨンとび跳ねているのです。ハゼ、ボラ、カレイ、ウサ

しい鳥もやってきました。シギ、チドリ、カモ、カモメ、サギがとくに多いのです。ワシやタカの仲間、ウの仲間も見られます。このように谷津干潟は生きている図鑑であり、自然に接する機会が少ない現代の子にとつて、干潟で出会うカニや魚や鳥たちはまさに生きている教科書なのです。

谷津干潟の環境美化と保全のために、千葉県、企業庁、習志野市、大蔵省、道路公園、鉄建公園、自治会、議員、京成電鉄・谷津遊園など、じつに多方面にわたつて精力的に運動を展開してきました。そしてそれらは、着実に成果を上げておあります。

.....

干潟では今、アサリ、シオフキ、マテガイ、カラサガイ、カガミガイ、ムラサキガイ、カキなどといった二枚貝の仲間がすめるようになってきました。

私達、谷津干潟愛護研究会と谷津干潟環境美化委員会(主婦中心)は、長年そのためにこそ、出来る限りのあらゆる努力をしてきました。ゴミ袋の数も約二万袋使っています。そのうち大部分は、不法投棄のゴミです。それに要する費用、労



北風の吹きすさぶ草原

### ゴミズクのペリット

干潟のそばのアミ原。ネズミなどを食べて、口から出す。



山崎総司氏より、一輪車の「船」(箱型の鉄板)と、「友の会」の腕章に使う布、芯を頂きました。有難うございました。

### 谷津干潟通信箱

NO 1001

82.12.13

No.1に私の声をお伝えする光栄は谷津干潟に大変嬉しいことです。11.25発行の通信箱に「2-2」で貴方の大変な御努力に感謝の気持ちを込めて、今後向うの御奉仕を信じてこの地に残された自然を弱者、渡り鳥や水辺の我が国を担う次代の子供達の為を守って行く目的に盡くすことをお願いいたします。

この通信箱は半信(Better half)を信じて、貴方の御奉仕の日々を送りたいと心願いたします。

早朝の涼気のため手紙の送付が遅くなりました。お詫言下し。

無名人より。



谷津干潟友の会では日曜日の1時~4時、一般市民のために望遠鏡や図鑑で説明に当たっています。

ナギ、セイコ、イワシ、アカエイ、エビなどがいます。杭や石がきには、カキやフジツボ、そしてイソギンチャクもいます。

干潟では今、投網や釣り、貝掘り、ゴカイ取りも行われています。たくさんの子供達や親子連れが、シャベルやバケツを持ってきて、カニを取りに来ています。渡り鳥は今まで、約二百種類が確認されています。毎年、新しい種類が発見され、時々セイタカシギやコハクチョウといっためずらしい鳥もやってきました。

「谷津干潟友の会」・・・休日ごとに、市民の為に望遠鏡・図かんを貸し出し、説明、作業をしています。

# ふかんど

号239

1983.1.14

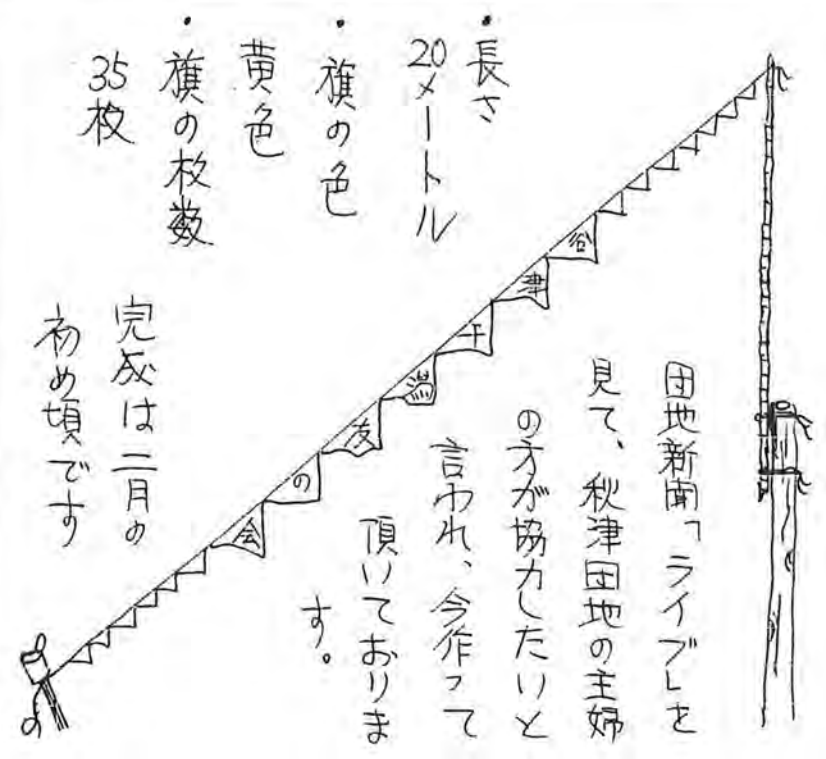
谷津干潟愛護研究会  
 下野 習志野市谷津字七七 麴荘E号  
 電話〇四七四一五〇四四  
 編集 木林 田三郎

会費年2000

発行 足  
1974.12.9

皆さま、新年明けましておめでとうございます。  
 昨年はいろくお世話になりました。大変有難うございました。又、干潟とその生き物に代って、御礼を申し上げます。本年も地べたに這いつくばって参りたいと存じます。

谷津干潟に「幸福」を呼ぶ  
 『友の会』の黄色いハンカチ



- ・長さ 20メートル
- ・旗の色 黄色
- ・旗の枚数 35枚

田地新聞「ライブ」を見て、秋津田地の主婦の方が協力したいと言われ、今作っています。頂いております。  
 完成は二月の初め頃です

「ゴミミズク」の餌付けに成功  
 昨年の暮れから、「谷津干潟自然緑地」に毎夜来るようになりました。ネズミを食べています。二羽は同達りなく来ています。写真撮影を成功しました。  
 明るく時は、テーブルやベニチに人が来ていますが、暗くなり、人が帰ってしまうと、今度はゴミミズクがやって来るのです。冬にシベリア・カナダから渡って来て、四月頃又渡って行ってしまいます。え、セメートルまで近づいても逃げません。

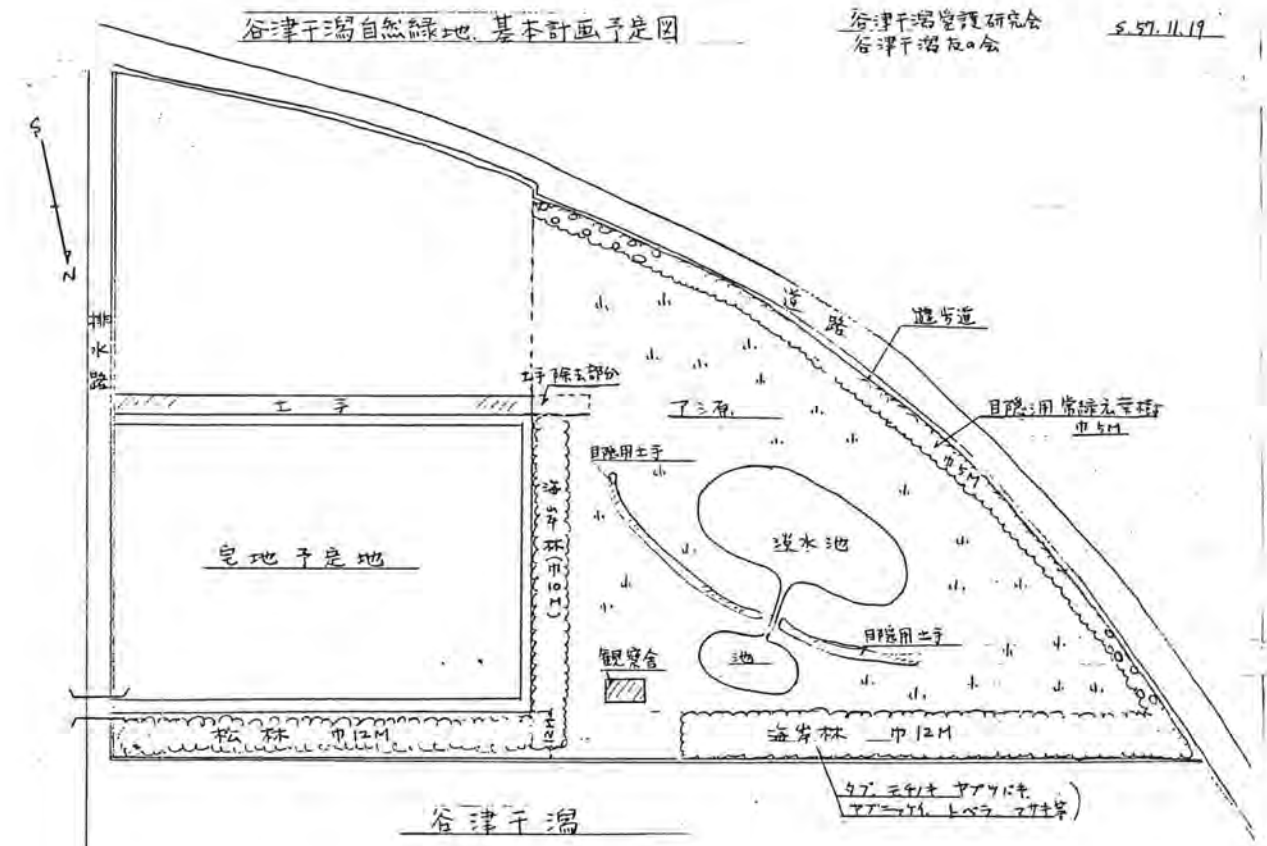
春をめざして  
 クリーン作戦を強力に展開

水草・アシ・カニ・ゴカイの為に  
 毎日、そして毎日曜日ごとに、続々とゴミを引き上げています。  
 場所は、フローネの小屋や、テーブル・ベニチのある所、つまり干潟の南がわです。冬は北風が多いので、テーブルやベニチのある南がわの方にゴミがたまるのです。ビニール、発泡スチール、空カン・ビン、流木などです。ゴミをとると、水草やカニ、ゴカイの生長がとってよいのです。堤防の下は凍ってカチン。島水がたれ、汚木ととも寒くくく。

皆んなの手で作ろう。谷津干潟自然緑地。計画・作図は、植物にくわしい山崎統司氏に頼みました。

基本要項

- 我々は、こゝに、つくられた公園ではなく、自然発生的な自然公園を、要望するものである。
- つくられた公園とは、従来の発想による、人工的・人造的公園であり、どのような公園ではなく、自然発生的な自然公園とは、たとえば、埋立地であっても、より、自然に近い、より本物に近い自然を、意図するものである。
- 予定図にあるアシ原とは、現在のアシ原を、そのままだけ、そのおの形のまま、残すものとする。(鳥類、ツグミ、コシノボリ、セッカ、ホヨシヅメ)
- 土手除去部分とは、54年5月における、三者会談(千葉県、企業庁、自然保護団体)の協定に、違反する土盛部分であることを、除去するものとする。
- 淡水池は、浅型と深型、二種つくるものとする。
- 淡水池には、水生昆虫としては、ゲンゴロウ、シズマシトシの幼虫やメダカ、ドジョウ、タニシ等が、生息できる環境とし、鳥類では、淡水池を好む、渡り鳥(エリマキシ、ウスシギ、クマガシ、ヒバリシ)や、タシギ、バン等、又、淡水池を好む、カモ類の生息できる環境とする。
- 我々は、周囲が、より人工的・造られた、建造物で、おぼつかいからして、人間も、より本物に近い自然を、望むものである。子供達にとっても、おぼつかい「遊び場」であつた。「原」に近い環境を残し、与えようことこそ、より良いことである、信するものである。



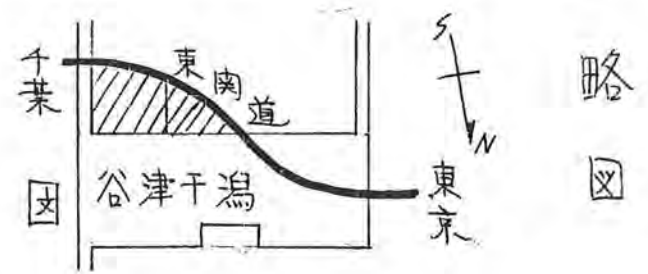
説明と追加

従来の公園とは、全く趣きを異にするのである。いわば「自然放置」を最大の眼目とする。

埋め立て地」という、特殊な環境において、その地質や動植物の変せんの記録、観察が未だかつて皆無なので、この谷津干潟自然緑地において「実験の場」とする。

この草地では、観察路や立ち入り自由と制限の所を区分し、環境保護と人の利用とを両立させたい。

子供達の情操教育に重きを置き、草や砂、流木などを使っていろいろな作業をしてもらう。例えば、土人小屋、風車、池作り、山や土手作り、トータムポール、笹舟、草のワナなど、昔のがき大将がやってきた事。



# ふかんど

号240

1983.1.25

谷津干潟愛護研究会  
〒270 習志野市谷津幸七 鷗荘E号  
電話〇四七四一五〇四四  
編集 木村三郎

会費年2000

発行 1974.12.9

## 谷津干潟を自然公園に

③

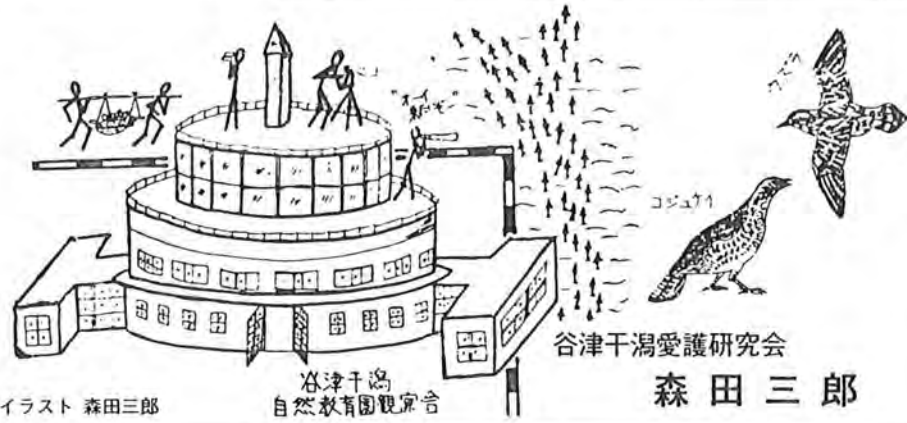


イラスト 森田三郎



もう、これ以上、亡ぼすまい。谷津干潟は東京湾の「シンボル」です。いいえ、日本のシンボルです。

夕日に映えて乱舞するシギやチドリの大群も、干潟一面にその姿を見せるカニの群生も、これらはみな干潟が今まで歩んで来た、つらくて苦しい、そして悲しい物語のメッセージなのです。証しなのです。告発なのです。訴えなのです。そして「絵」とは「な」のです。

あの干潟と生きもの達のことを、単なる思い出や、記録やお話しとしてはいけません。失なってしまうたら、もう二度と戻らない、作れない、貴重な干潟です。

次の世代を担う、明日の日本を築く子供達の為にも私達大人は、教育権、環境権を言葉や空論でなく、その実体として、しっかりとした形あるものとして、残し、守り、育て、贈り伝えるべきではないでしょうか。その責務があるのではないのでしょうか。(おわり)

この度のご紹介、「ライブ」編集社の方々の御好意に感謝致します。お陰さまで、干潟に来る人、そして私産に励みの声をかけてくれる人がめっきり多くなりました。合掌。

### 谷津干潟 自然緑地

干潟のそばにある約31haの草地です。たぐさんのテールやベンチが並んでいる所です。

この草地は、日本野鳥の会や谷津干潟愛護研究会の努力により、県から「谷津干潟と一体化した、自然環境の土地利用計画」として認められた所です。

テールもベンチも、そしてこの自然緑地も、今は文字通り市民の憩いの場となっており、散歩、野鳥観察、写真撮影、スケッチ、虫取り、草花つみ、天気の良い日は、子供達やお母さん達が弁当を広げたりしているのを見かけます。

谷津干潟自然緑地は又、オオヨシキリ、ヒバリ、セツカ、カルガモ、チドリなど

### めだかの学校

といった野鳥が卵を産み、ヒナを育てる繁殖の場所でもあります。草むらには、コオロギ、いろんな種類のバッタ、カマキリ、トンボ、その他たくさん昆虫が棲んでいます。

秋になると、ススキやヨシの穂が咲き乱れ、風にゆれてとってもきれいです。

良さそうにスイスイと泳いでいます。ヤゴもいます。アカトンボ、ムギワラトンボ、シオカラトンボ、ギンヤンマ、オニヤンマ、イトトンボ達がおしりを水につけては卵を産み、ヤゴになり、それが大きくなって、空へと飛んでいくのです。

水草も入れました。ガマ、ホテイアオイ、イグサを入れて、生きもの達がすみ良いようにしてあります。

将来、私達はこの草地に野鳥観察舎を建て、森や草原をつくって、市民と自然の「ふれ合いの場」にしたと考えております。

### 一日も早く 鳥獣保護区に

環境庁と千葉県は「第五次鳥獣保護五ヶ年計画」で

### 谷津干潟 バード サンクチュアリ

サンクチュアリとは「聖域」という意味です。かつて、広大な東京湾の干潟に生息していた、幾億方の生きものは、生きながらにして土の下に埋められてしまいました。



森田さんへ 知らない仲間からの応援です

●谷津干潟通信箱より 秋津一主婦より  
11月25日・創刊号のミニコミ紙で、貴方の大変なご努力を知り、感激しております。

今後、高一層のご奉仕を僅かにこの地に残された自然を、弱者の渡り鳥やこれから我が国を担う次代の子供たちのために守っていく目的に尽されることを願っています。

いづれ良き伴侶を得られ共々ご幸福な日々を送られることをお祈りします。

—無名人—

『友の会』の態勢づくり

谷津干潟友の会の会の赤提燈

ただし、お酒  
は出ません。  
調達は、石川  
勉さんがして  
くれます。これから休  
日ごとに、フローネの小  
屋にぶら下がっています。



谷津干潟友の会の腕章が完成

布地は黄色で、文字はうす緑色です。

平日は勿論、とくに日曜・祭日には、干潟  
でいろいろ作業をしていますが、その時  
に必ずつけてあります。十枚作製



友の会は、休日ごとに望遠鏡  
や図かんを自由に貸し出し、  
使ってらってます。

産経新聞 1983.11.14

「谷津干潟」再生 森田三郎さん(37)

8 人の『83』



自然よ  
よみがえれ

◎浄化のあかし、鳥の乱舞を遠くで眺めながら  
◎手あかきむらも、ソノウチン(大田)が手をつく



「食虫植物 鶴岡 繁さん(49)群」の保存



再生へ苦闘の8年間

国の鳥獣保護区 やっと見えたゴール

都市化が進め、自然が失われ、たった一人の干潟の再生を奮闘した。谷津干潟の再生を志す人々の苦闘の8年間、ついに「谷津干潟」が国の鳥獣保護区に指定された。再生活動の中心人物は、森田三郎さん(37)だ。谷津干潟の再生活動の中心人物は、森田三郎さん(37)だ。谷津干潟の再生活動の中心人物は、森田三郎さん(37)だ。

谷津干潟の再生活動の中心人物は、森田三郎さん(37)だ。谷津干潟の再生活動の中心人物は、森田三郎さん(37)だ。谷津干潟の再生活動の中心人物は、森田三郎さん(37)だ。

谷津干潟の再生活動の中心人物は、森田三郎さん(37)だ。谷津干潟の再生活動の中心人物は、森田三郎さん(37)だ。谷津干潟の再生活動の中心人物は、森田三郎さん(37)だ。

自然のなかで育種を

ことしの課題は資料作り

森田三郎さん(37)は、谷津干潟の再生活動の中心人物だ。谷津干潟の再生活動の中心人物は、森田三郎さん(37)だ。谷津干潟の再生活動の中心人物は、森田三郎さん(37)だ。